



Stellar Data Recovery シリーズマニュアル

本製品は「Stellar Information Technology Pvt.Ltd」の「Stellar Data Recovery シリーズ」の一部の機能を変更し、「救出フェニックス 3」シリーズと改題したものです。また、ヘルプや製品内に、本製品の機能や名称と一部異なる記述がありますので、あらかじめご了承ください。

目次

| | |
|---------------------------------------|-------------------------------|
| 1. 概要..... | 4 |
| 2. はじめに..... | 5 |
| 2.1 ユーザーインターフェース..... | 5 |
| 2.2 ソフトウェアの登録..... | 6 |
| 3. 復元する..... | 8 |
| 3.1 データの復元..... | 8 |
| 3.2 失われたパーティションからデータを復元する..... | 20 |
| 3.3 ディスクイメージからデータを復元する..... | 22 |
| 3.4 詳細スキャン..... | 28 |
| 3.5 詳細設定..... | 30 |
| 4.よくある質問..... | 38 |
| 5.Legal Notices..... | 40 |
| Stellar Drive Monitor..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| ユーザーガイド..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 6.Stellar Drive Monitor の概要..... | 44 |
| 7.メイン画面の概要..... | 45 |
| ボタン..... | 45 |
| 設定..... | 46 |
| 8.ディスクの監視..... | 48 |
| ディスクステータス..... | 48 |
| SMART ステータス..... | 51 |
| ディスクパーティション..... | 54 |
| スキャンディスク..... | 55 |
| クローンディスク..... | 57 |
| 9.よくある質問..... | 59 |
| 10.Legal Notices..... | 60 |
| 11. Stellar Repair for Photo の概要..... | 64 |
| 12.ユーザーインターフェイス..... | 65 |
| 12.1.ボタン..... | 65 |
| 13.ソフトウェアの登録..... | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 14.使用方法..... | 67 |
| 14.1.画像ファイルの追加..... | 67 |
| 14.2.画像ファイルの修復..... | 68 |
| 14.3.高度な修復..... | 70 |

| | |
|----------------------------|-------------------------------|
| 14.4.画像ファイルのプレビューと保存 | 72 |
| 15.よくある質問..... | 74 |
| 16.概要..... | 76 |
| 17.ユーザーインターフェイス..... | 76 |
| 17.1.ボタン..... | 77 |
| 18.ソフトウェアの登録 | エラー! ブックマークが定義されていません。 |
| 19.使用方法 | 78 |
| 19.1.動画ファイルの追加 | 78 |
| 19.2.動画ファイルの修復とプレビュー | 80 |
| 19.3.高度な修復 | 81 |
| 19.4.修復したファイルを保存..... | 83 |
| 20.よくある質問..... | 85 |

1. 概要

本製品は、ハードディスクやリムーバブルドライブから失われたデータを復元するための完全なソリューションです。これは、すべてのデータ損失の問題に対する完全なソリューションです。ソフトウェアの強力なスキャンエンジンは、選択したストレージデバイスの完全なスキャンを行い、スキャンプロセス中に見つかったファイルのプレビューを表示し、最後に指定されたデスティネーションに保存します。ドキュメント、フォルダ、メール、またはマルチメディアファイルをストレージメディアから復元するためのオプションも用意されています。

本製品ではスキャン情報を保存して、後で復元を再開できます。また、ハードディスクまたはボリューム/パーティションのイメージを作成するオプションもあります。このイメージファイルは、実際のハードドライブが使用できない場合でも失われたデータを回復するために使用できます。これは、リカバリ処理中にハードドライブに障害が発生する可能性がある場合、またはドライブに不良セクタが多い場合に役立ちます。

以下に、製品の機能および主要機能の一部を示します。

主な特徴

- 削除されたファイルとフォルダの復元
- 場所を指定した検索、ファイル形式を指定したスキャン
- ファイルシステム(NTFS、FAT、FAT16、FAT32、exFAT、CDFS、UDF、HFS+)をサポート
- クイックスキャンで復元できない場合、詳細スキャンを実行できる
- 復元前のファイルをプレビュー
- 誤って削除された、フォーマットされたボリュームからデータの復元が可能
- ハードディスク、メモ리카ードなどのリムーバブルメディアからの復元
- スキャンの中断、再開が可能
- 300 種類以上のファイル形式をサポート(追加 / 編集可能)
- ハードディスクのイメージファイルを作成し、そこからスキャンできる

2. はじめに

- [ユーザーインターフェース](#)
- [ソフトウェアの登録](#)

2.1. ユーザーインターフェース

本製品の画面は非常にシンプルで使いやすくなっています。本製品を起動すると「復元対象を選択」画面が表示されます。



メイン画面には、3つのオプションがあります。

1. **すべて** : 特定のドライブまたは選択された場所からすべてのデータを復元します。
2. **ドキュメント、フォルダおよびメール** : さまざまなメールソフトのメール、オフィス文書、ファイル、フォルダを復元します。
3. **マルチメディアファイル** : 写真、オーディオ、ビデオを復元します。

また、メニューにすばやくアクセスするための使いやすい[ボタン](#)も備えています。

2.1.1. ボタン

本製品で使用する一般的なボタン/アイコンは次のとおりです：



ホーム

クリックすると、メイン画面に戻ります。



詳細設定

クリックすると、一般、ファイル形式、復元の設定を変更できます。



この製品について

クリックすると、アプリケーションに関する情報を表示します。



戻る

クリックすると、前の画面を表示します。



ヘルプ

クリックすると、本ヘルプを開きます。



購入

クリックすると、製品の購入ページを開きます。



登録

クリックすると、アクティベーションができます。

次へ

クリックすると、次の画面を表示します。

復元

クリックすると、復元されたデータを保存します。

スキャン

クリックすると、スキャンを開始します。

停止

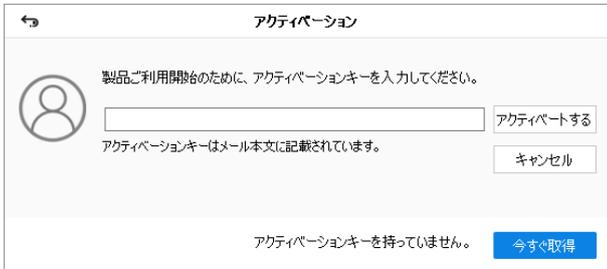
クリックすると、スキャンを停止します。

2.2.ソフトウェアの登録

本製品を使用するにはアクティブ化が必要です。ユーザー登録カードに記載されたアクティベーションキー(ダウンロード版の場合は購入時に届くメールに記載)を使用してアクティベーションします。

ソフトウェアをアクティブにするには：

1. 本製品を起動し、アクティベーションボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



The screenshot shows a mobile application screen titled "アクティベーション" (Activation). At the top left is a back arrow icon. Below the title is a user icon and the text "製品ご利用開始のために、アクティベーションキーを入力してください。" (To start using the product, please enter the activation key). There is an input field for the key, with a button "アクティベートする" (Activate) to its right. Below the input field is the text "アクティベーションキーはメール本文に記載されています。" (The activation key is listed in the email body). To the right of this text is a "キャンセル" (Cancel) button. At the bottom of the screen, there is a message "アクティベーションキーを持っていません。" (I don't have an activation key.) and a blue button "今すぐ取得" (Get it now).

2. アクティベーションキーを入力し、アクティブにするボタンをクリックします。
3. アクティベーション完了のメッセージが表示されますので OK をクリックします。

3. 復元する

- [データの復元](#)
- [失われたパーティションからデータを復元する](#)
- [ディスクイメージからデータを復元する](#)
- [詳細スキャン](#)
- [詳細設定](#)

3.1.データの復元

本製品では、データを復元するためのさまざまな方法を提供します。データを復元するには、まずハードディスクまたはボリュームのスキャンが必要です。スキャン後に、復元したいファイルを選択して復元します。

本製品には以下の復元オプションがあります。

- **すべて** - ドライブ/メディアに存在または削除されたすべてのドキュメント、ファイル、およびフォルダを検出、復元できます。
- **文書、フォルダおよび電子メール** - 紛失した文書、フォルダ、内容、メールアイテムを検出、復元します。
- **マルチメディアファイル** - 紛失した写真、オーディオ、ビデオなどを検出、復元します。

本製品ではスキャン先を選択することもできます。以下の選択オプションがあります。

- **共通の場所** - デスクトップ、マイドキュメント、任意の場所からスキャンします。
- **接続されたドライブ** - システムに接続されているすべてのドライブと外部記憶メディアからスキャンします。
- **その他の場所** - 失われた、削除されたパーティション、またはディスクイメージからスキャンします。

- [既存のボリュームをスキャンする](#)
- [CD / DVD をスキャンする](#)
- [スキャン情報を保存する](#)
- [スキャン結果のプレビュー](#)
- [ファイルを復元する](#)
- [詳細設定](#)

3.1.1 既存のボリュームをスキャンする

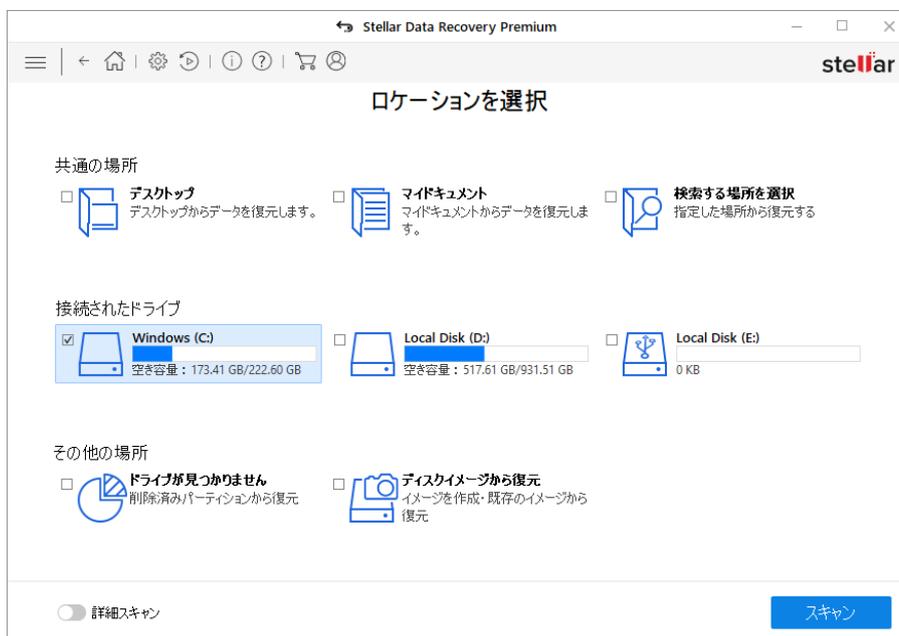
本製品を使用して、ハードディスクまたはシステムに接続された外部記憶メディアから削除または失われたデータを復元できます。NTFS、FAT、FAT16、FAT32、および ExFAT ファイルシステムに対応しています。

既存のボリュームをスキャンするには：

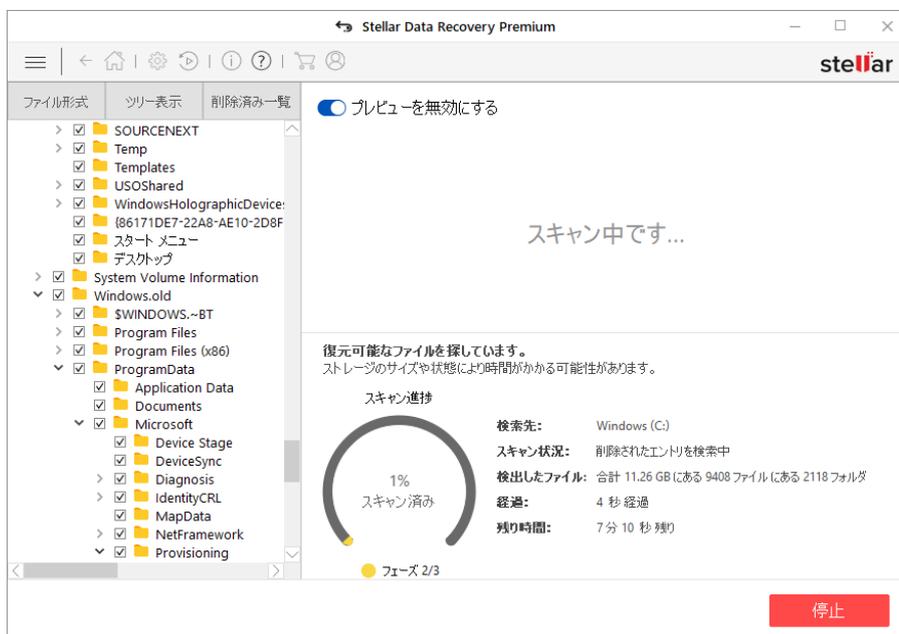
1. 本製品を起動し、復元するファイルの形式を選択後、「次へ」をクリックします。



2. 以下の画面が表示されます。スキャンする場所もしくはドライブを選択してスキャンをクリックします。



3. 以下の画面が表示されます。スキャン完了までしばらくお待ちください。停止をクリックすると、いつでもスキャンを停止できます。



4. スキャンが完了すると以下のダイアログが表示されますので「閉じる」をクリックします。



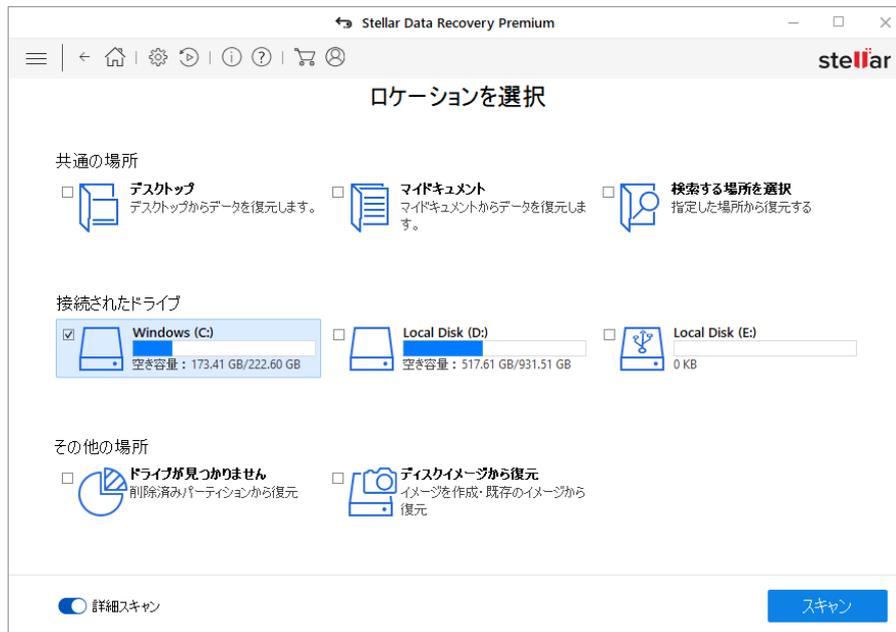
既存のボリュームを詳細にスキャンする:

詳細スキャンを実行すると、リカバリするデータを特定できない場合に、選択したボリュームを完全にスキャンできます。

1. 本製品を起動し、復元する項目を選択して「次へ」をクリックします。



2. スキャンする場所を選択した後、画面の左下にある詳細スキャンを有効にして「スキャン」をクリックします。



3. スキャン処理が完了すると、見つかったファイルとフォルダの一覧が表示されません。

3.1.2 CD/DVD をスキャンする

CD/DVD ディスクは、熱、ほこり、傷などさまざまな要因で読めなくなる可能性があります。本製品は損傷した CD-ROM、CD-RW、DVD および DVD-RW ディスクからデータを復元できます。Windows、Linux、UNIX、および Macintosh で作成したメディアからの復元をサポートします。

CD/DVD をスキャンするには:

1. 本製品を起動し、復元する項目を選択し「次へ」をクリックします。



2. 場所を選択する画面から CD/DVD ドライブを選択し、スキャンをクリックします。

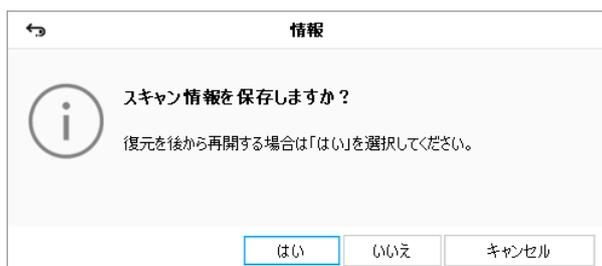


3.1.3 スキャン情報を保存する

データのスキャン情報を DAT ファイルとして保存できます。スキャン情報はスキャンが完了していなくても保存できます。スキャン情報を使用するとドライブを最初からスキャンせずにスキャンを再開できます。

スキャン情報を保存するには:

1. スキャン後に表示される、結果画面で「戻る」、「ホーム」、もしくは「閉じる」ボタンをクリックします。
2. スキャン情報の保存の確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。



3. ファイル保存ダイアログが表示されますので、任意の場所にファイルを保存します。ファイルは DAT 形式で保存されます。

注： スキャンを停止した場合は、その時点までのスキャン情報を保存できます。

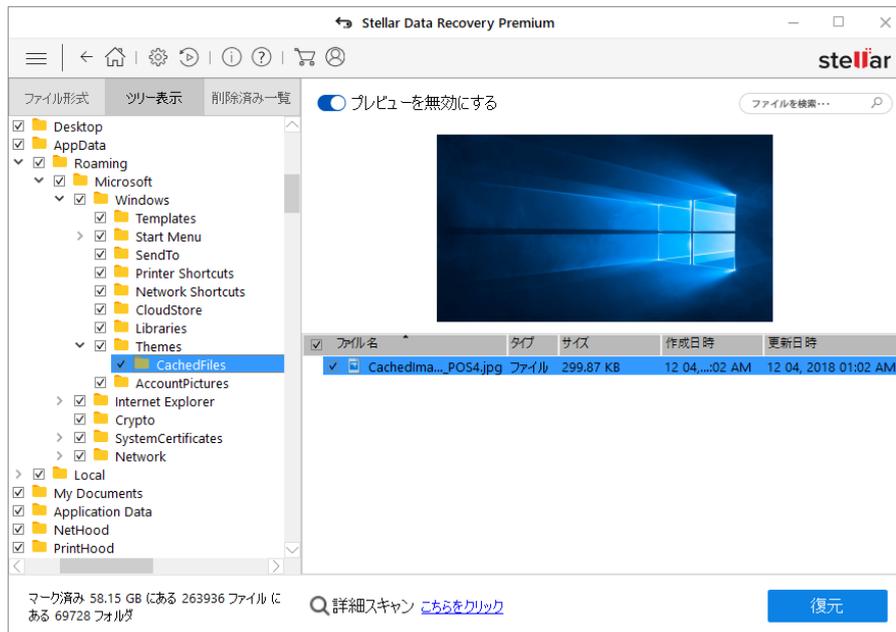
3.1.4 スキャン結果のプレビュー

本製品は、スキャンした物理ボリュームまたはリムーバブルメディアに存在するファイルとフォルダのプレビューを表示します。スキャンしたそれぞれのファイルとフォルダは、3つのペイン構造で表示されます。3つのペインは、左上、右上、右下のペインです。

- 左ペインでは、フォルダに応じたツリーが表示されます。
- 右上のペインには、ファイルのプレビューが表示されます(対応形式のみ)
- 右下のペインには、ツリービューで選択したフォルダ内のすべてのファイルとフォルダが一覧表示されます。

ファイルをプレビューするには:

スキャン完了後の画面で画面左のタブをクリックします。



ファイル形式 : このビューでは、ファイル/フォルダは、ドキュメント、オーディオ、ビデオ、アーカイブなどのカテゴリごとに表示します。

ツリー表示 : このビューでは、フォルダは階層構造で一覧表示されます。

削除済み一覧 : ドライブから削除されたすべてのファイルとフォルダがこのビューに一覧表示されます。

- ツリー内のフォルダをクリックすると、そのフォルダにあるファイルが右下ペインに表示されます。
- 右下のペインでファイルをクリックすると、ファイルをプレビューできます(対応している形式のみ)

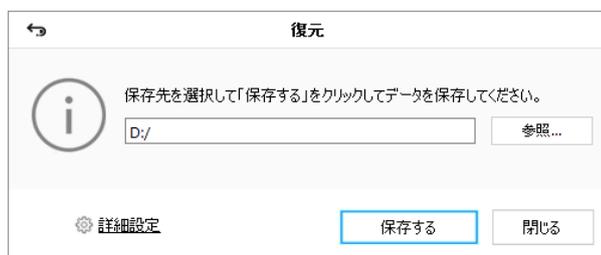
注 : スキャンして検出したファイルのリストから目的のファイルやフォルダが見つからない場合は「詳細スキャン」を使用します。

3.1.5 ファイルを復元する

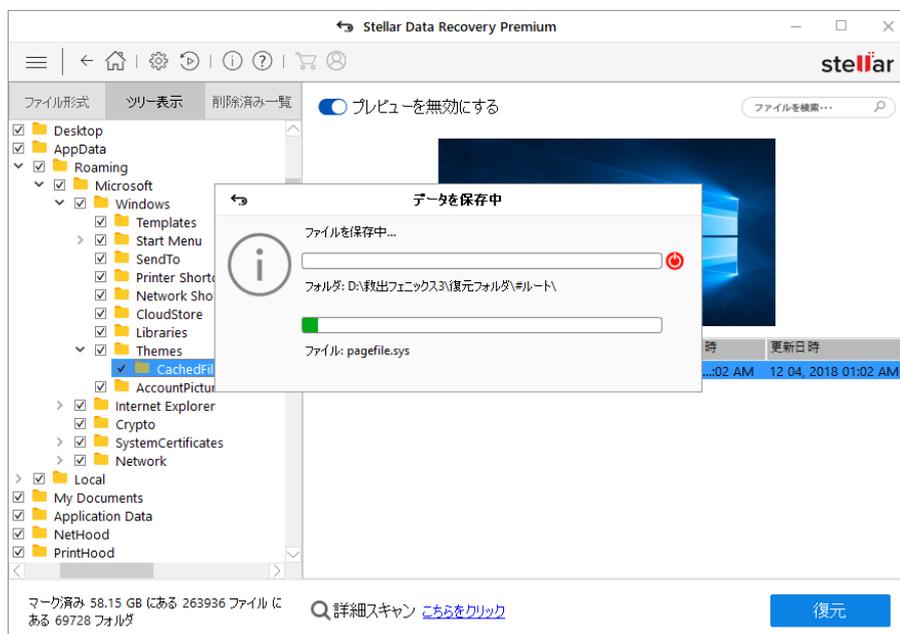
本製品は、サポートしているファイル形式のファイルを復元できます。スキャン結果画面に表示されているファイルやフォルダを指定した場所に保存できます。

紛失したファイルを復元するには:

1. スキャン結果画面から復元するファイルやフォルダを選択します。「ファイル形式」タブをクリックすると、復元するファイル形式の絞り込みができます。また「削除済み一覧」タブをクリックすると削除されたファイルのみが表示されます。
 - **特定のファイルを検索するには**
 - 画面右上の「ファイルを検索」にファイル名を入力します。次の検索結果を表示する場合は、検索ボタンをクリックするか Ctrl + G キーを押下します。
 - **すべてのファイルを復元するには**
 - 左側のツリーのルートノードにチェックをつけ、「復元」をクリックします。
 - **個々のファイルを復元するには**
 - 左ペインのフォルダをクリックすると、そこに保存されているファイルが表示されます。
 - 右下のペインにあるファイルを確認し、「復元」をクリックします。
 - **特定のカテゴリのファイルを復元するには**
 - [ファイル形式]をクリックします。任意のカテゴリを選択し、「復元」をクリックします。
2. 復元するファイルの保存元を指定するダイアログボックスが表示されます。参照ボタンをクリックして保存先を指定します。



3. 「保存する」をクリックします。保存するファイルの名前が同じ場合は、上書き、名前の変更、またはスキップが可能です。



選択したファイルが復元され、指定された場所に保存されます。ファイルを表示するには、移動先に移動します。

3.1.6 詳細設定

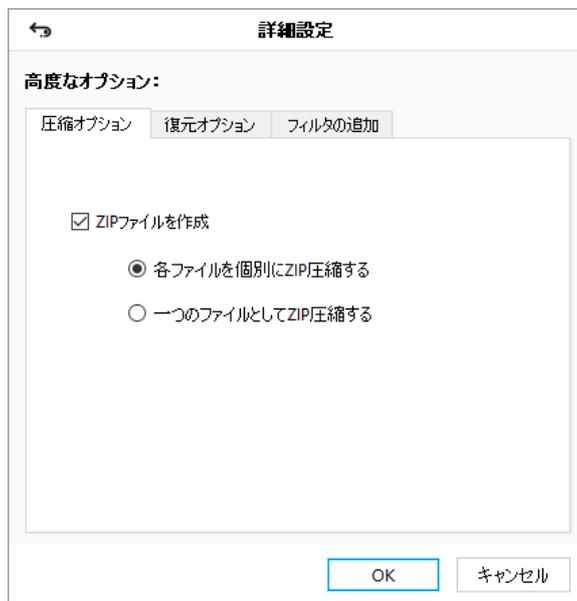
本製品では、復元するファイルの保存時に以下のオプションを設定できます。

- 圧縮オプション
- 復元オプション
- フィルタの追加

圧縮オプション:

復元するファイルを ZIP ファイルにして保存します。

- 「詳細設定」 - 「圧縮オプション」をクリックします。

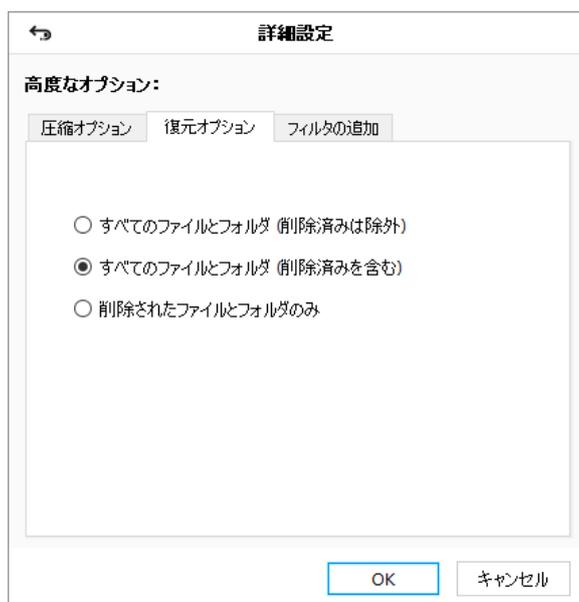


- 「ZIP ファイルを作成」チェックボックスをオンにします。
 - **各ファイルを個別に ZIP 圧縮する**
復元するすべてのファイルごとに ZIP ファイルを作成します。
 - **一つのファイルとして ZIP 圧縮する**
復元するすべてのファイルを単一の ZIP ファイルを作成します。
- [OK]をクリックします。

復元オプションの変更

復元時に削除されたファイルを復元対象にするかを選択できます。

- 「詳細設定」 - 「復元オプション」をクリックします。



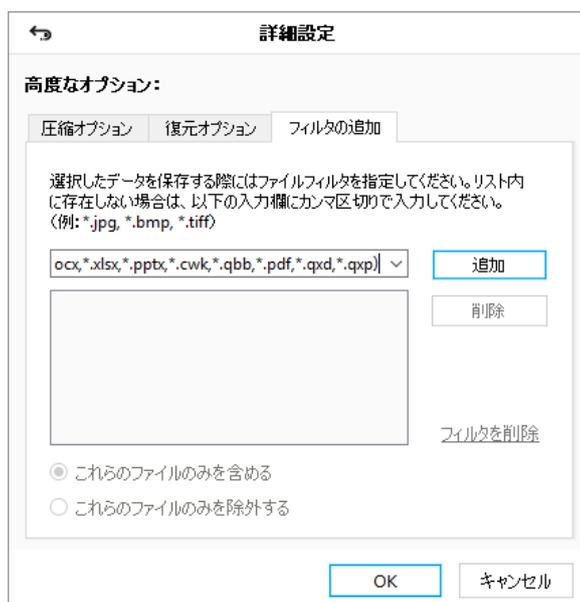
- 次のいずれかを選択します。
 - **すべてのファイルとフォルダ(削除済みは除外)**
選択したファイルやフォルダを復元時に、削除したファイルを除外します。
 - **すべてのファイルとフォルダ(削除済みを含む)**
選択したファイルとフォルダを復元時に、削除したファイルとフォルダを含めます。
 - **削除されたファイルとフォルダのみ**
削除されたファイルとフォルダのみ復元します。
- [OK]をクリックします。

フィルタの追加

フィルタを適用することで復元時に特定の拡張子を除外または、追加できます。

フィルタを追加するには:

- 「詳細設定」 - 「フィルタの追加」をクリックします。



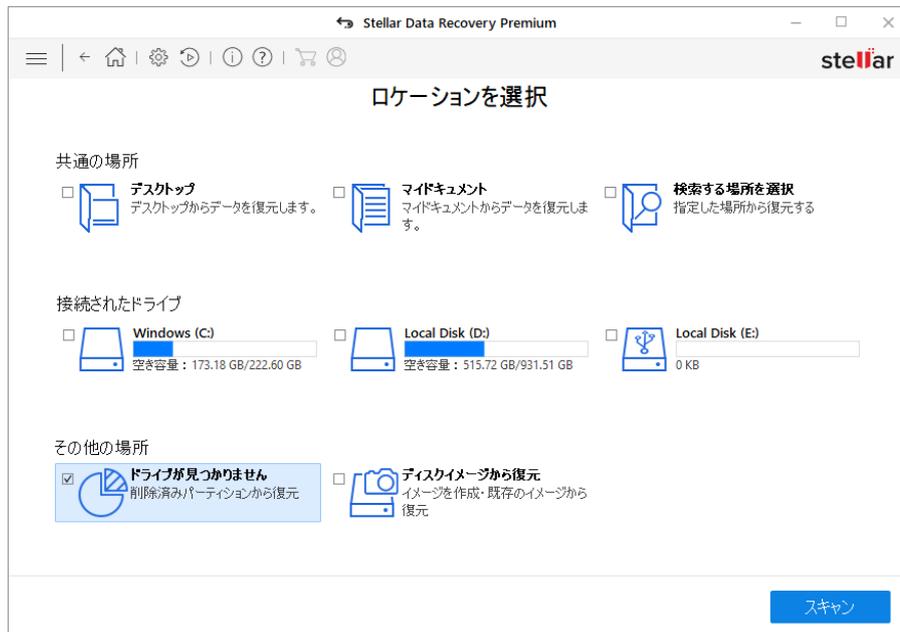
- ドロップダウンボックスからファイルタイプのグループを選択し、「追加」ボタンをクリックするとリストに追加できます。
- リストから拡張子を削除するには、拡張子を選択して「削除」ボタンをクリックします。
- リストに追加されたファイルタイプのみ復元する場合は、「これらのファイルのみを含める」を選択します。また、リストに追加されたファイルタイプを復元対象外とする場合は「これらのファイルを除外する」を選択し、[OK]をクリックします。

3.2.失われたパーティションからデータを復元する

本製品を使用すると、ハードディスクの失われたパーティションや削除されたパーティションからデータを検索して復元できます。誤って削除されたパーティションからデータを復元するには、このオプションを使用する必要があります。このオプションは、既存のボリュームとともに、ハードディスク内のすべての削除されたパーティションと失われたパーティションを検索して一覧表示します。

紛失したパーティションから復元するには：

1. 本製品を起動し、復元する項目を選択後「次へ」をクリックします。
2. 以下の画面が表示されますので、「その他の場所」 - 「ドライブが見つかりません」にチェックをつけ「スキャン」をクリックします。



- 以下の画面が表示されます。「ドライブを選択」よりスキャンするドライブを指定し、「検索」ボタンをクリックします。



- 検索が完了すると「パーティションを選択」リストにパーティションが表示されます。スキャンするパーティションを選択し、「スキャン」ボタンをクリックします。パーティションが見つからない場合は「詳細スキャン」ボタンをクリックします。



3.3. ディスクイメージからデータを復元する

ディスクイメージとは、「内蔵または外付けハードディスク」、「メモリカード」など、データを復元するデバイスを単一のイメージファイル(IMG)にしたものです。本製品を使用してドライブのイメージを作成すると、イメージファイルからデータを復元できます。

- [イメージを作成](#)
- [既存のイメージから復元またはスキャン情報から回復する](#)

3.3.1. イメージを作成

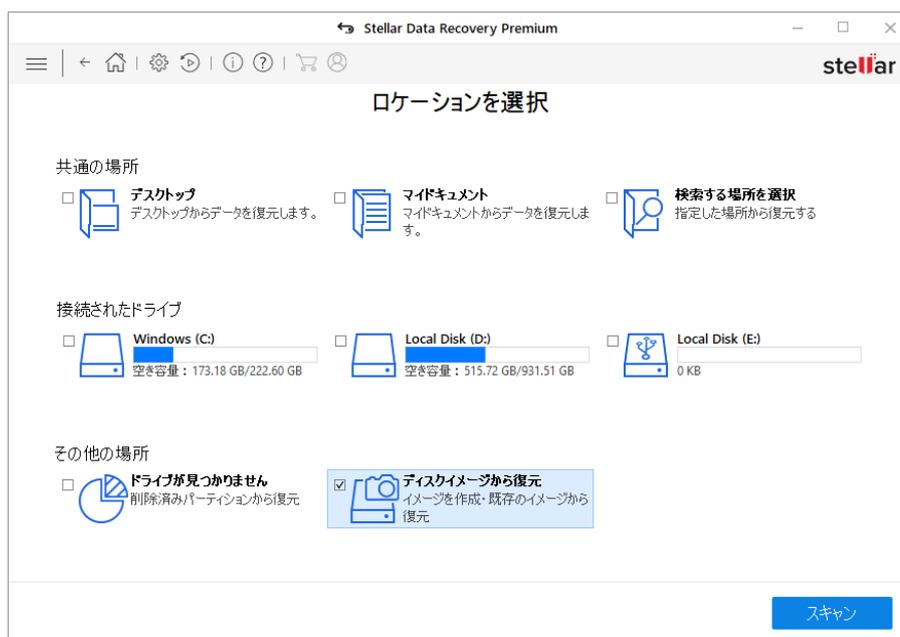
本製品のイメージ作成オプションを使用すると、さまざまなストレージデバイスのイメージファイル(IMG)を作成し保存できます。イメージを作成できるデバイスは次のとおりです。

- ハードディスク丸ごと
- ハードディスク内の既存のパーティション
- メモリカード、外部ハードディスクなどの取り外し可能なメディア

このイメージファイルを使用した[復元](#)ができます。本製品を使用して作成したイメージは、選択したハードディスク、またはボリュームと同じサイズです。イメージファイルを保存する場所に、十分な空き容量を確認してください。

ハードディスク、またはリムーバブルメディアのイメージファイルを作成するには:

1. 本製品を起動し、復元する項目を選択後「次へ」をクリックします。
2. 以下画の画面が表示されますので、「ディスクイメージから復元」を選択して、「スキャン」をクリックします。



3. 以下の画面が表示されますので、「イメージ作成」を選択し、「次へ」をクリックします。

オプションを選択

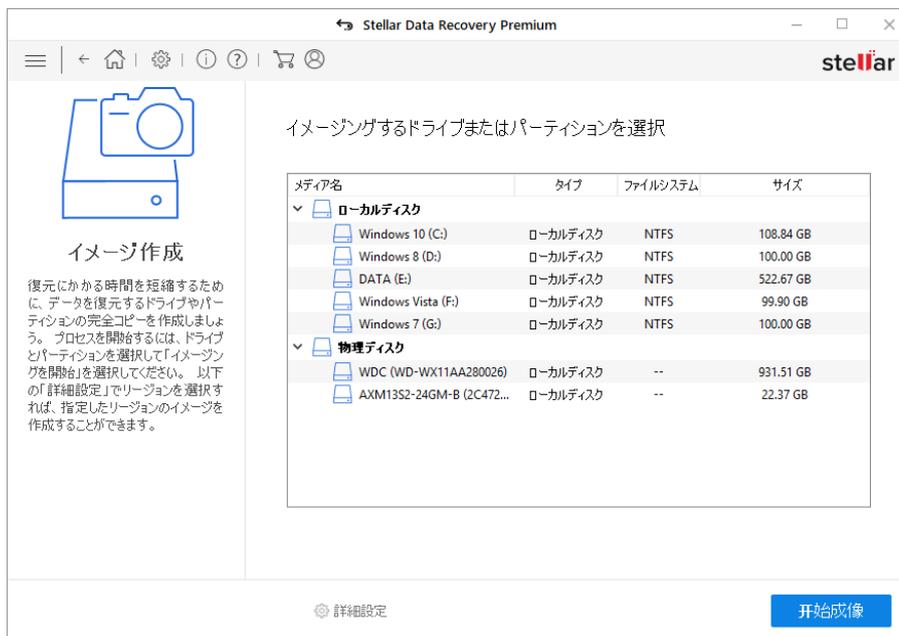
イメージ作成

既存イメージから復元

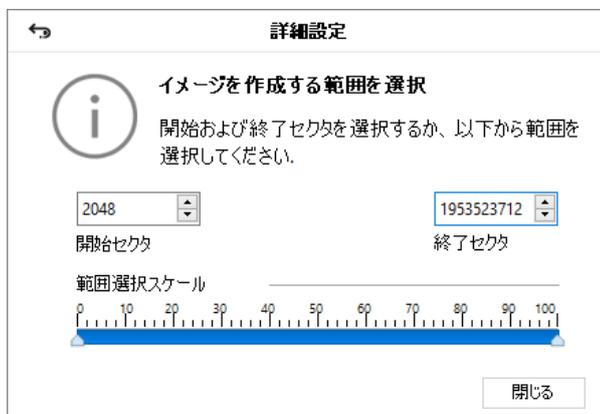
次へ

閉じる

4. 以下の画面が表示されます。イメージを作成するドライブまたはパーティションを選択し「開始」をクリックします。



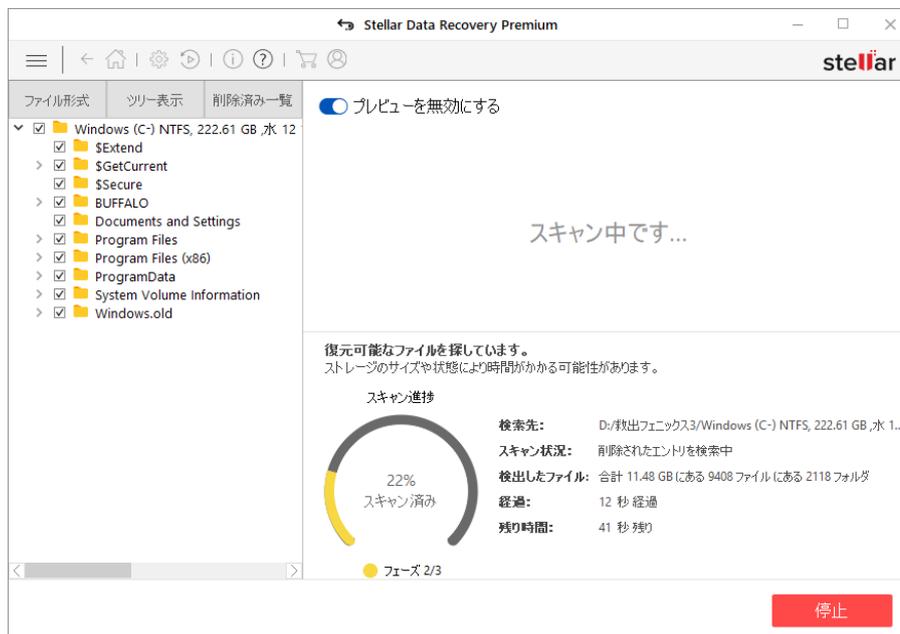
- 「詳細設定」をクリックすると、イメージファイルを作成する開始セクタと終了セクタの範囲を指定できます。範囲を小さくとイメージファイルのサイズは小さくなりますが、復元できる確率が下がります。通常はそのままをおすすめします。



- 保存先を指定するダイアログボックスが表示されますので、保存先とファイル名を指定して保存します。
- 以下の画面が表示されます。作成したイメージを選択し「スキャン」ボタンをクリックします。



8. スキャンがはじまります。「停止」クリックするといつでもスキャンを停止できます。



9. スキャンが完了すると以下のダイアログが表示されますので「閉じる」をクリックします。

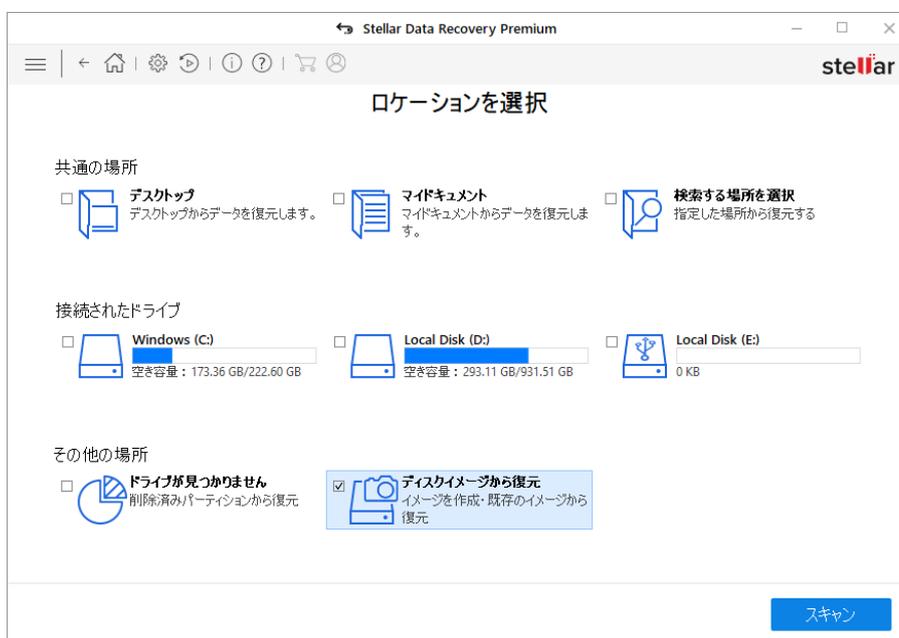


3.3.2.既存のイメージまたはスキャン情報から復元する

本製品で作成したディスクイメージを使用してファイルの復元ができます。

任意のディスクイメージを使用してデータを復元するには:

1. 本製品を起動し、復元する項目を選択後「次へ」をクリックします。
2. 以下画の画面が表示されますので、「ディスクイメージから復元」を選択して、「スキャン」をクリックします。



3. 以下の画面が表示されますので、「既存イメージから復元」を選択し「次へ」をクリックします。

オプションを選択

イメージ作成 既存イメージから復元

次へ

閉じる

- 以下の画面にすべてのイメージファイル(IMG)が表示されます。新たにこれらのファイルを追加する場合は「追加」ボタンをクリックします。また、削除する場合はリストから対象を選択後「削除」をクリックします。リストを元に戻すには「リセット」をクリックします。



- イメージを追加したら、「スキャン」をクリックして復元を開始します。
- スキャンがはじまります。「停止」をクリックするといつでもスキャンを停止できます。



7. スキャンが完了すると以下のダイアログが表示されますので「閉じる」をクリックします。

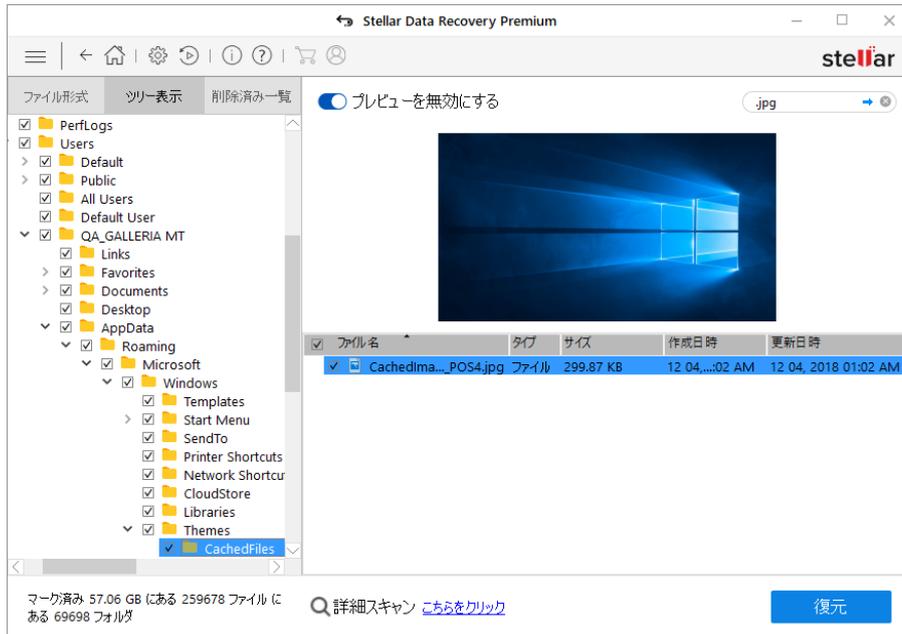


3.4.詳細スキャン

詳細スキャンはハードディスク、SD カードなどから目的のファイルが見つからない場合や削除されたパーティションが見つからない場合に使用します。ボリュームを包括的にスキャンして、失われたデータや削除されたデータを復元します。クイックスキャンが完了し、検出されたファイルのリストに目的のファイルが含まれていない場合、詳細スキャンを実行できます。

詳細スキャンを実行するには:

- クイックスキャン完了後、プレビューウィンドウの下にある「こちらをクリック」をクリックします。



- 「失われたパーティションからデータを復元する」で目的のパーティションが見つからない場合は、「詳細スキャン」をクリックして、選択したドライブに対して包括的にスキャンができます。



- スキャン処理を示す画面が表示されます。「停止」をクリックすると、いつでもスキャンを停止できます。



- スキャン処理が完了すると、詳細スキャン中に見つかったファイルとフォルダの数を示すダイアログボックスが表示されます。



- 詳細スキャン中に見つかったファイルは、プレビューウィンドウで内容を確認のうえ、任意の場所に保存できます。

3.5.詳細設定

詳細設定を表示するには:

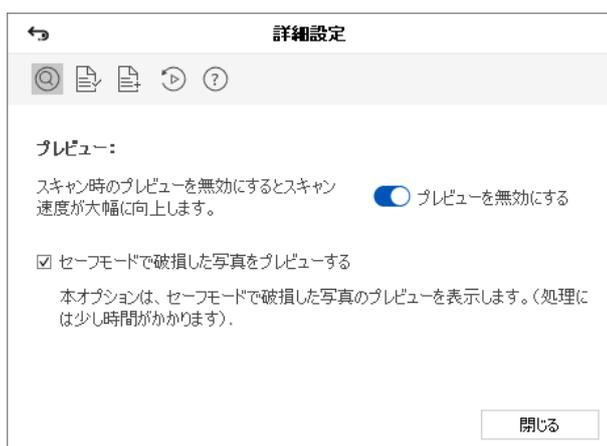
1. 本製品を起動し、画面上部の「詳細設定」をクリックします。

3.5.1.プレビュー

プレビューの設定では、アプリケーションのプレビューウィンドウの設定を変更できます。

プレビュー設定を適用するには：

1. 詳細設定画面から「プレビュー」ボタンをクリックします。



2. プレビューには以下の設定があります。

プレビューを無効(有効)にする：無効にするとスキャン中にプレビューを作成しなくなるためスキャン速度が大幅に向上します。無効の場合プレビューはファイルを選択した時点で作成されるため表示に時間がかかるようになります。

セーフモードで破損した写真をプレビューする：有効にすると破損している写真のプレビューを表示します。

3.5.2.ファイルリスト

ファイルリストの設定では、ビデオ、オーディオ、画像などさまざまなファイル形式から復元するファイル形式の絞り込みができます。

ファイルタイプを選択するには：

1. 詳細設定画面から「ファイルリスト」ボタンをクリックします。



2. 対応しているすべてのファイル形式のリストが表示されます。復元するファイル形式、またはカテゴリにチェックをつけます。復元しないものに対してはチェックをはずします。

3.5.3. スキャン対象のファイル形式を追加、編集する

本製品では、ファイルリストに記載されていないファイル形式を復元対象として追加、編集できます。

ファイル形式の追加、編集には、以下の方法があります。

- 新しいファイル形式を手動または自動で追加するには、「ヘッダの追加」をクリックします。
- 既存のファイル形式のサイズを編集するには、「ヘッダを編集」をクリックします。

ファイル形式を自動で追加するには：

- 詳細設定画面から「ヘッダの追加」タブをクリックします。
- 「ヘッダの追加方法を知りません」を選択します。

詳細設定

ヘッダの追加:

ヘッダの追加 ヘッダを編集

ヘッダの追加方法を知りません
 ヘッダの追加方法は知っています

新しいファイル・シグネチャを追加するには、「追加」ボタンを押して、10個以上のサンプルファイルを追加してください。

グループを選択:
アプリケーションファイル

平均のファイルサイズ:
5 MB

追加 リセット

ヘッダの追加 閉じる

- 「追加」ボタンをクリックして、追加するファイル形式のファイルを最低 10 個リストに登録します。
- 「グループを選択」から登録するグループを選択し、「平均のファイルサイズ」にそのファイルの平均サイズを入力後、「ヘッダの追加」ボタンをクリックします。

ファイル形式を手動で追加するには(ファイル構造に詳しい上級者向け):

- 詳細設定画面から「ヘッダの追加」タブをクリックします。
- 「ヘッダの追加方法は知っています」を選択します。

- 以下の項目を入力します：
 - ソフトウェア名：リストに登録する名称を入力します。
 - ファイル拡張子：ファイルの拡張子を入力します。
 - グループ：登録先のグループをリストから選択します。
 - 最大ファイルサイズ：ファイルサイズを入力します。
 - ヘッダ(16進数)：ファイルのヘッダを16進数で入力します。
 - オフセット：オフセットを10進数で入力します。
- 「ヘッダの追加」ボタンをクリックすると、入力した内容で「ファイルリスト」に追加されます。

ファイル形式を編集するには

既存または新しく追加されたファイル形式を編集することもできます。

ファイルタイプのサイズを変更する/追加されたファイル形式を削除するには：

- 詳細設定画面から「ヘッダを編集」タブをクリックします。



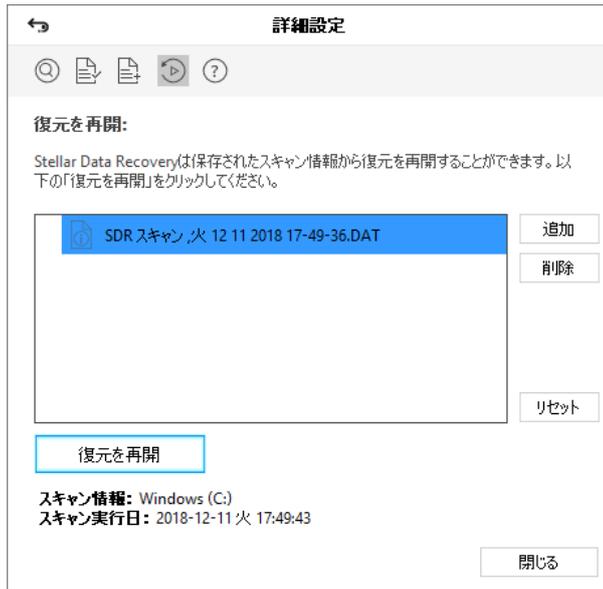
- リストから目的のファイル形式を選択し、「新しい平均ファイルサイズ」にサイズを入力し「サイズを編集」ボタンをクリックします。
- 自分で登録したファイル形式を選択し、「削除」ボタンをクリックすると項目を削除できます。

3.5.4.復元の再開

スキャン結果は完了、未完了を問わずスキャン情報ファイル(.DAT)として保存できます。このファイルを使用すると、スキャンが未完了の場合はスキャンを再開でき、スキャンが完了している場合は情報を元にスキャン結果を表示します。スキャンを最初から行なわないため時間が節約できます。

スキャン情報ファイルを使用して復元を再開するには:

1. 本製品を起動し、「詳細設定」ボタンをクリックします
2. 詳細設定画面より「復元を再開」ボタンをクリックします。



3. スキャン情報ファイルの一覧から、復元を再開するファイルを選択し、「復元を再開」ボタンをクリックします。一覧にファイルが見つからない場合は「追加」ボタンをクリックしファイルを一覧に登録します。また、一覧から削除するにはファイルを選択して「削除」ボタンをクリックします。
4. スキャン処理を示す画面が表示されます。「停止」をクリックすると、いつでもスキャンを停止できます。



5. スキャン処理が完了すると、スキャン中に見つかったファイルとフォルダの数を示すダイアログボックスが表示されます

4.よくある質問

復元できるのは、オーディオ、ビデオ、ドキュメント、および写真のみでしょうか？

いいえ。選択したボリューム内のすべてのファイルとフォルダを復元できます。

特定のファイルを復元することはできますか？

はい。ファイルを右クリックし復元ボタンを選択することができます。

削除したパーティションからファイルを復元できますか？

はい。[[失われたパーティションを復元する](#)]オプションを使用すると、削除されたパーティションを検出し、そこからデータをスキャン、復元できます。

詳細スキャンとは何ですか？

通常のスキャンでファイルが復元できない場合に使用します。詳細スキャンは通常のスキャンよりも速度は遅くなりますが、検出結果は通常のスキャンより優れています。

復元にかかる時間はどのくらいでしょうか？

復元にかかる時間は、ハードディスクまたはボリュームのサイズによって異なります。

ExFAT パーティションからデータを復元できますか？

はい、可能です。本製品は、NTFS、FAT、FAT16、FAT32 および ExFAT ファイルシステムをサポートしています。

特定のファイル形式だけを見つけて復元するには？

プレビューウィンドウの検索機能、または[ファイルタイプリスト]タブから特定のファイルを絞り込みできますので、該当するファイルを選択し[復元]をクリックします。

削除したデータのみを復元するにはどうすればよいですか？

削除されたデータを復元するには

- データを復元するドライブまたはボリュームをスキャンします。
- 削除されたリストを選択すると、削除されたファイルの一覧が表示されます。
- リストから復元するファイルを選択し、「復元」をクリックします。

イメージ作成とは何ですか、なぜそれが必要なのでしょうか？

イメージ作成を使用すると、ハードディスクやパーティションをひとつのイメージファイルとして作成、保存します。このイメージファイルは作成時点のハードディスク情報が含まれているため、誤ってファイルを削除してしまった場合このイメージファイルをスキャンするこ

とで、かんたんにファイルが復元できます。また、ハードディスクをスキャンするよりも短時間で復元ができます。

USB メモリなどの外部ディスクから写真を復元できますか？

はい。USB メモリ、SD カードなどのリムーバブルメディアから写真を復元できます。メイン画面から「写真」を選択してファイルをスキャンします。

5. Legal Notices

Copyright

Stellar Data Recovery – Professional software, accompanied user manual and documentation are copyright of Stellar Information Technology Private Limited with all rights reserved. Under the copyright laws, this user manual cannot be reproduced in any form without the prior written permission of Stellar Information Technology Private Limited. No Patent Liability is assumed, however, with respect to the use of the information contained herein.

Copyright © Stellar Information Technology Private Limited. All rights reserved.

Disclaimer

The Information contained in this manual, including but not limited to any product specifications, is subject to change without notice.

STELLAR INFORMATION TECHNOLOGY PRIVATE LIMITED PROVIDES NO WARRANTY WITH REGARD TO THIS MANUAL OR ANY OTHER INFORMATION CONTAINED HEREIN AND HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE WITH REGARD TO ANY OF THE FOREGOING STELLAR INFORMATION TECHNOLOGY PRIVATE LIMITED ASSUMES NO LIABILITY FOR ANY DAMAGES INCURRED DIRECTLY OR INDIRECTLY FROM ANY TECHNICAL OR TYPOGRAPHICAL ERRORS OR OMISSIONS CONTAINED HEREIN OR FOR DISCREPANCIES BETWEEN THE PRODUCT AND THE MANUAL. IN NO EVENT SHALL STELLAR INFORMATION TECHNOLOGY PRIVATE LIMITED, BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL SPECIAL, OR EXEMPLARY DAMAGES, WHETHER BASED ON TORT, CONTRACT OR OTHERWISE, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THIS MANUAL OR ANY OTHER INFORMATION CONTAINED HEREIN OR THE USE THEREOF.

Trademarks

Stellar Data Recovery – Professional® is a registered trademark of Stellar Information Technology Private Limited.

Windows XP®, Windows Vista®, Windows 7®, Windows 8®, Windows 8.1®, Windows 10® are registered trademarks of Microsoft® Corporation Inc.

All Trademarks Acknowledged.

All other brands and product names are trademarks or registered trademarks of their respective companies.

License Agreement – Stellar Data Recovery – Professional

Stellar Data Recovery – Professional

Copyright © Stellar Information Technology Private Limited. INDIA

www.stellarinfo.com

All rights reserved.

All product names mentioned herein are the trademarks of their respective owners.

This license applies to the standard-licensed version of **Stellar Data Recovery – Professional**.

Your Agreement to this License

You should carefully read the following terms and conditions before using, installing or distributing this software, unless you have a different license agreement signed by Stellar Information Technology Private Limited.

If you do not agree to all of the terms and conditions of this License then do not copy, install, distribute or use any copy of **Stellar Data Recovery – Professional** with which this License is included, you may return the complete package unused without requesting an activation key within 30 days after purchase for a full refund of your payment.

The terms and conditions of this License describe the permitted use and users of each Licensed Copy of **Stellar Data Recovery – Professional**. For purposes of this License, if you have a valid single-user license, you have the right to use a single Licensed Copy of

Stellar Data Recovery – Professional. If you or your organization has a valid multi-user license, then you or your organization has the right to use up to a number of Licensed Copies of **Stellar Data Recovery – Professional** equal to the number of copies indicated in the documents issued by Stellar when granting the license.

Scope of License

Each Licensed Copy of **Stellar Data Recovery – Professional** may either be used by a single person or used non-simultaneously by multiple people who use the software personally installed on a single workstation. This is not a concurrent use license.

All rights of any kind in **Stellar Data Recovery – Professional**, which are not expressly granted in this license, are entirely and exclusively reserved to and by Stellar Information Technology Private Limited. You shall not rent, lease, modify, translate, reverse engineer, decompile, disassemble or create derivative works based on **Stellar Data Recovery – Professional** nor permit anyone else to do so. You shall not make access to **Stellar Data Recovery – Professional** available to others in connection with a service bureau, application service provider or similar business nor permit anyone else to do so.

Warranty Disclaimers and Liability Limitations

Stellar Data Recovery – Professional and all accompanying software, files, data and materials are distributed and provided AS IS and with no warranties of any kind, whether expressed or implied. You acknowledge that good data processing procedure dictates that any program including **Stellar Data Recovery – Professional** must be thoroughly tested with non-critical data before there is any reliance on it and you hereby assume the entire risk of all use of the copies of **Stellar Data Recovery – Professional** covered by this License. This disclaimer of warranty constitutes an essential part of this License. In addition, in no event does Stellar authorize you or anyone else to use **Stellar Data Recovery – Professional** in applications or systems where its failure to perform can reasonably be expected to result in a significant physical injury or in loss of life. Any such use is entirely at your own risk and you would not hold Stellar responsible for any and all claims or losses relating to such unauthorized use.

In no event shall Stellar Information Technology Private Limited or its suppliers be liable for any special, incidental, indirect, or consequential damages whatsoever (including,

without limitation, damages for loss of business profits, business interruption, loss of business information, or any other pecuniary loss) arising out of the use of or inability to use the software product or the provision of or failure to provide support services, even if Stellar Information Technology Private Limited has been advised of the possibility of such damages. In any case, Stellar Information Technology Private Limited's entire liability under any provision shall be limited to the amount actually paid by you for the software product.

General

This License is the complete statement of the agreement between the parties on the subject matter and merges and supersedes all other or prior understandings, purchase orders, agreements and arrangements. This License shall be governed by the laws of the State of Delhi, India. Exclusive jurisdiction and venue for all matters relating to this License shall be in courts and fora located in the State of Delhi, India and you consent to such jurisdiction and venue. There are no third party beneficiaries of any promises, obligations or representations made by Stellar herein. Any waiver by Stellar of any violation of this License by you shall not constitute nor contribute to a waiver by Stellar of any other or future violation of the same provision or any other provision of this License.

Copyright © Stellar Information Technology Private Limited. All rights reserved.

6.Stellar Drive Monitor の概要

本製品はハードディスクの問題を監視、分析、報告するために設計された強力なツールです。S.M.A.R.T.(セルフモニタリング・アナリシス・アンド・リポーティング・テクノロジー)による、温度やパフォーマンス情報、ハードディスクの健全性などの属性の表示を主な機能としています。

本製品は、監視中の属性がしきい値(またはユーザーが設定した値)を越えると警告を表示します。監視はハードディスクの様々なパラメーター(温度、パフォーマンス、健康状態等)について継続的に行い、ユーザーへの警告はリアルタイムで行われます。

本製品は PATA/SATA、USB ハードディスク、SSD を対象として動作し、パフォーマンスに関する様々な問題に対して警告をします。

主要な機能

- バックグラウンドで継続的に動作し、ハードディスクの状態についてリアルタイムで情報を表示します。
- シリアル番号、モデル番号、パーティション情報等のハードディスクに関する基本的な情報を表示します。
- 様々なハードディスクの属性に関する情報と、健康状態のレベルを表示します。
- ハードディスクをスキャンし、問題がある部分を表示します。
- ハードディスクのクローン(ディスクの複製)を作成します。
- PATA/SATA、USB ハードディスク、SSD に対応しています。

取扱説明書の使用にあたって

注意 : 重要な注意点や説明部分を、以下の記号で強調しています。



警告 : 「やってはいけないこと」を、以下の記号で表示しています。

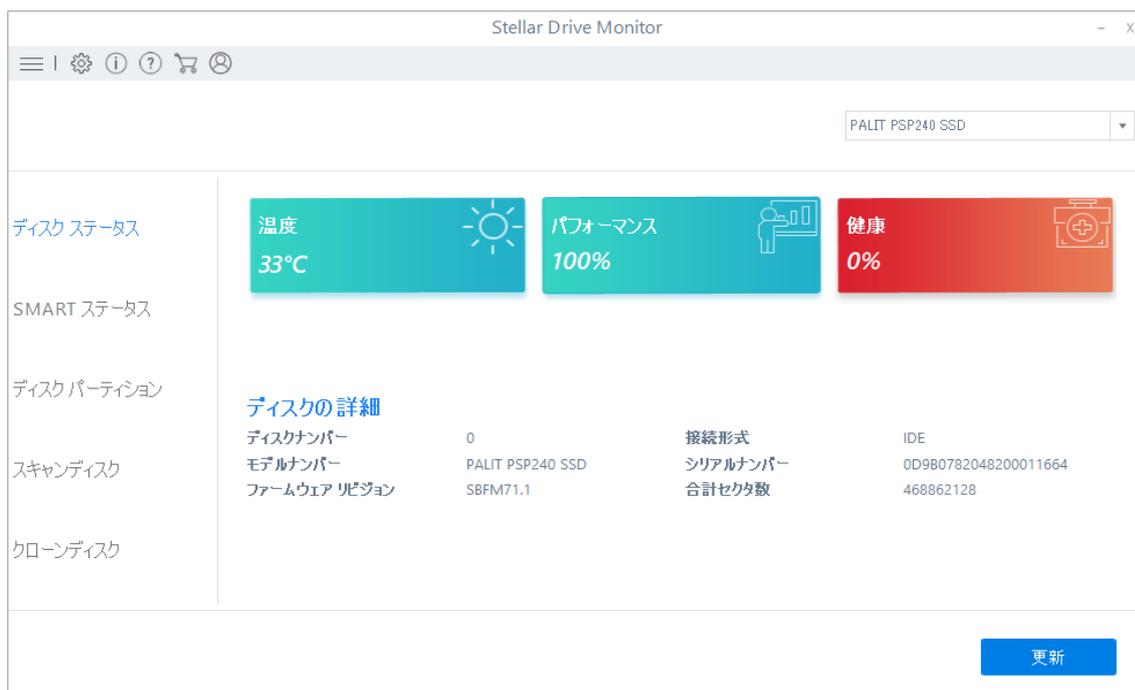


アドバイス : アドバイスとなる情報を、以下の記号で表示しています。



7.メイン画面の概要

本章はハードディスクの分析に関する様々な機能をご紹介します。使用に慣れていただくことを目的としています。メイン画面は、なるべくシンプルかつ効率よく操作していただけるようにデザインされています。



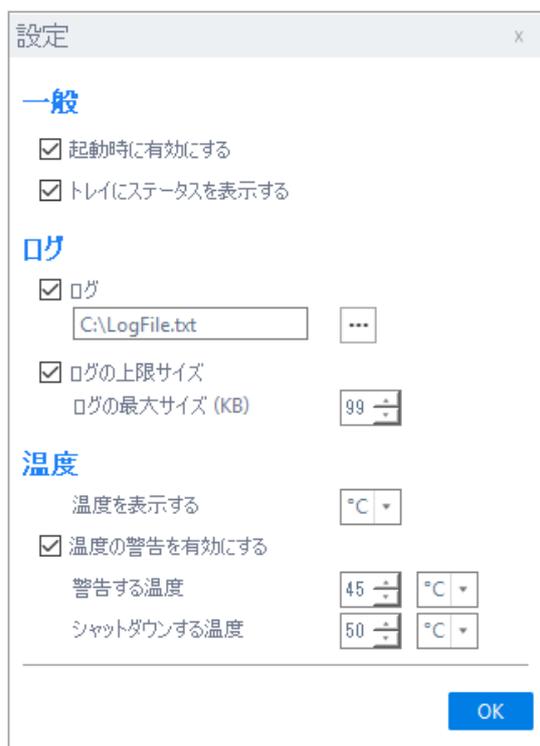
7.1.ボタン

| | |
|---|---------------------|
|  | 本製品の設定を変更できます。 |
|  | 本製品に関する情報を表示します。 |
|  | 本ユーザーガイドを表示します。 |
|  | オンラインの購入ページを表示します。 |
|  | 製品のアクティベーションを行ないます。 |

| | |
|------|---|
| 更新 | 新しく接続したハードディスクがドロップダウンリストに表示されない場合は、このボタンをクリックします。同時にディスクの温度、パフォーマンス、健康状態も更新されます。 |
| スキャン | スキャンを開始します。 |
| クローン | クローンを開始します。 |
| 停止 | スキャンおよびクローンを停止します。 |

7.2.設定

設定画面では一般、ログ、温度の設定が変更できます。



以下の設定が可能です。各設定を適用するには、OK をクリックします。

一般

起動時に有効にする : ON にすると、OS 起動時に本製品が自動起動します。

トレイにステータスを表示する : ON にすると、ディスクの状態をシステムトレイ(デスクトップの右下)に表示します。

ログ

ログ : ON にすると、指定した場所にログファイルが生成されます。

ログの上限サイズ : ON にすると、ログファイルの上限サイズを設定できるようになります。設定したサイズを超過すると、以前のログが消去されます。

温度

温度を表示する : 温度表示の単位を摂氏または華氏から選択します。

温度の警告を有効にする : ON にすると、温度のしきい値に到達、またはしきい値を超えた場合に警告します。

警告する温度 : 警告をする温度を設定します。これにより、ハードディスクの過熱による破損を防ぎます。

シャットダウンする温度 : パソコンをシャットダウンする温度を設定します。これにより、ハードディスクの過熱による破損を防ぎます。



トレイにステータスを表示のチェックが ON の場合、ハードディスクの温度のみ表示されます。詳細全体を見るには本製品を開く必要があります。

8. ディスクの監視

本製品は、システムに接続されたハードディスクの様々な属性の監視を目的としています。

以下がディスクの状態を監視するための主な機能です。

- [ディスクステータス](#)
- [SMART ステータス](#)
- [ディスクパーティション](#)
- [スキャンディスク](#)
- [クローンディスク](#)



コンピューターに複数のハードディスクを接続している場合は、右上のリストから対象ドライブを選択してください。

8.1. ディスクステータス

ここでは、ハードディスクの健康状態全般に関する情報を扱います。コンピューターに複数のハードディスクを接続している場合は、右上のドロップダウンリストから対象ドライブを選択してください。



扱う情報は以下の通りです。

温度：ハードディスクが適切に動作するかは、ディスク温度の上昇速度によって決まります。ディスクの温度領域ごとに表示色が変わります。適切な温度域は以下の通りです。

| ハードディスクの温度 | 適切性 | 色 |
|------------|-------|--------|
| 49度未満 | 最適 | 青 / 青緑 |
| 50度 ~ 65度 | 許容範囲内 | オレンジ |
| 65度を超過 | 過熱状態 | 赤 |

警告する温度はユーザーが設定画面から指定できます。温度が指定された範囲を超えると、ディスクが破損するおそれがあります。

パフォーマンス：ハードディスクのパフォーマンスは複数の要素によって決まりますが、そのなかでも重要な要素のひとつとして挙げられるのがアクセス時間です。本製品でも、パフォーマンスの要素としてディスクの転送速度を表示しています。

健康：ハードディスクの健康状態は、ハードディスクの総稼働時間や読み込み/書き込みエラーの数をはじめとする様々な要素に影響します。

本製品では選択したディスクのディスク番号、モデル番号、ファームウェアリビジョン、インターフェイスの種類、シリアル番号、総ディスクセクタの情報も表示します。



パフォーマンス、健康状態、温度属性に関する現在の値を表示するタイルの色は、ディスクの状態によって青からオレンジ、赤へと変わります。青のタイルが許容範囲、赤のタイルが危険な状態であることを表しています。オレンジのタイルは、属性の値が警告レベルにあることを表しています。

8.2.SMART ステータス

SMART ステータスは、ハードディスクの S.M.A.R.T.属性の全情報を表示します。これにより、選択したハードディスクの健康状態全体を把握できるようになります。

SMART ステータスウィンドウには以下の 7 つのカラムが表示されます。(属性の)ID、「属性の名前」、「状態」、「属性の値」(現在の値)、「ワースト値」(過去に最も悪い値)、「しきい値」(この値を超える/下回るとハードディスクが故障するおそれがある値)、「健康度」が表示されます。



Stellar Drive Monitor

PALIT PSP240 SSD

ディスク ステータス

SMART ステータス

SMARTの詳細

| ID | 属性の名前 | 状態 | 属性 | ワースト値 | しきい値 | 健康度 |
|-----|-------------------|----|-----|-------|------|------|
| 1 | 未処理の読み取りエラー率 | OK | 100 | 100 | 50 | 100% |
| 9 | 電源オン時 | OK | 100 | 100 | 0 | 100% |
| 12 | 電源サイクル数 | OK | 100 | 100 | 0 | 100% |
| 168 | Unknown Attribute | OK | 100 | 100 | 0 | 100% |
| 170 | Unknown Attribute | OK | 76 | 76 | 10 | 100% |
| 173 | Unknown Attribute | OK | 100 | 100 | 0 | 100% |
| 192 | パワーオフトラウトカウント | OK | 100 | 100 | 0 | 100% |
| 194 | 温度摂氏 | OK | 67 | 67 | 0 | 100% |
| 218 | Unknown Attribute | OK | 100 | 100 | 50 | 100% |

更新

本製品の SMART ステータスモジュールでは以下の属性を確認できます。

| 属性の名称 | 説明 |
|---------------------------------|--|
| Read Error Rate (読み込みエラー発生率) | ハードディスクからのデータ検索中に発生した、ハードウェアの読み込みエラー数です。 |
| Spin Up Time (スピンアップ時間) | ハードディスクのスピンドルが完全に動作するようになるまでにかかった平均時間です。 |
| Start Stop Count (開始/停止数) | ハードディスクのスピンドルが回転を開始または停止した回数の総数です。一度電源が切られた状態や、スリープモードにな |

| | |
|---|---|
| | った後にディスクが作動したときに増加します。 |
| Reallocated Sector Count (代替処理されたセクタ数) | 不良セクタから特別に用意された領域にデータが移された回数を表示します。この代替処理されたセクタ数が増えるほど、ハードディスクの健康状態が悪化していることを表します。 |
| Seek Error Rate (シーク動作のエラー発生率) | 磁気ヘッドがプラッター上の適切な位置に移動しない不具合の回数を表示します。この問題は、機械的な位置合わせシステムの一部が不具合を起こすことで生じます。 |
| Power On Hours (電源オンの合計時間) | ディスクの電源がオンになっていた時間の合計を表示します。 |
| Spin Retry Count (スピン再試行数) | 完全な動作速度に到達するためのスピン開始を試行した回数の合計を表示します。この値が増える場合、ハードディスクの機械的サブシステムに問題が生じていることを示しています。 |
| Calibration Retry Count (校正再試行数) | 再校性の要求数を表示します。この値が増える場合、ハードディスクの機械的サブシステムに問題が生じていることを示しています。 |
| Power Cycle Count (電源サイクル数) | ハードディスクの電源が、オンになった後オフになるというサイクルを何回繰り返したかを表示します。 |
| Uncorrectable Errors (訂正不可能なエラー) | ハードウェアの ECC(エラー訂正コード)で訂正できなかったエラーの総数を表示します。 |
| High Fly Writes (ハイフライ書き込み) | ハードディスクには、記録ヘッドが通常の動作範囲外に飛び出したことを検知して書き込み動作を保護する Fly High Monitor (フライハイ監視機能)が備わっており、このような飛び出しが発生したときは情報をハードディスクの安全な領域で代替処理します。 ハイフライ書き込みは、ハードディスクでこうしたエラーが発生した回数を表示します。 |
| Power-off retract count or Emergency Retract Cycle (電源オフ時にアンロードされた回数または緊急アンロードサイクル) | 電源がオフにされたサイクルの総数です。 |
| Load/ Unload Cycle Count (ロード/アンロードサイクル数) | 磁気ヘッドが退避位置へと移動してからディスク上に戻る、ロード/アンロードサイクルの回数です。 |
| Temperature Celsius (摂氏温度) | デバイスの温度を表示します。 |

| | |
|---|---|
| Reallocation Event Count (代替処理回数) | 代替処理を行ったセクタからスペアエリアへデータを転送する試行回数の総数を表します。成功/失敗の試行回数をカウントします。 |
| Current Pending Sector Count (代替処理保留中のセクタ数) | 訂正不可能な読み込みエラーにより代替処理を待っている、不安定なセクタの数を表します。 |
| Uncorrectable Sector Count (訂正不可能なセクタ数) | セクタへの読み込み/書き込み中に発生した訂正不可能なエラーの総数を表します。この値が増える場合、ハードディスクの機械的サブシステムとディスク表面の破損のいずれか、または両方の問題が生じています。 |
| UltraDMA CRC Error Count (UltraDMA CRC エラー数) | ICRC (インターフェイス冗長性の周期的確認)によって決定する、インターフェイスケーブルを通じたデータ転送エラーの回数を表します。 |
| Write Error Rate (書き込み動作のエラー発生率) | セクタの書き込み時に発生したエラーの総数を表します。この値が増える場合、ハードディスクの機械的サブシステムの劣化を示します。 |
| Data address Mark Errors (データアドレスマークのエラー) | 不正または無効なアドレスマークの回数を表します。 |

8.3. ディスクパーティション

異なるファイルシステムでフォーマットした、様々な容量のディスクスペースをパーティションと呼びます。

本製品のディスクパーティションでは、以下をはじめとするハードドライブのパーティションの詳細を表示します。



The screenshot shows the Stellar Drive Monitor interface. At the top, the window title is "Stellar Drive Monitor". Below the title bar, there are navigation icons and a dropdown menu showing "PALIT PSP240 SSD". The main content area is divided into a left sidebar and a main panel. The sidebar contains menu items: "ディスク ステータス", "SMART ステータス", "ディスクパーティション", "スキャンディスク", and "クローンディスク". The main panel is titled "ディスクパーティション" and features a circular progress indicator labeled "ディスク 0". To the right of the progress indicator, the following information is displayed: "シリアルナンバー: 0D9B0782048200011664", "接続形式: IDE", and "容量: 223.57 GB". Below this, a section titled "パーティションの詳細" contains a table with the following data:

| パーティション | 状態 | 容量 |
|-----------|----|------------------------------|
| C: (NTFS) | 健康 | 171.5 GB 空き容量 222.6 GB 77%空き |

At the bottom right of the main panel, there is a blue button labeled "更新".

パーティション : 「C:」や「D:」のように、ドライブの文字で表示されます。

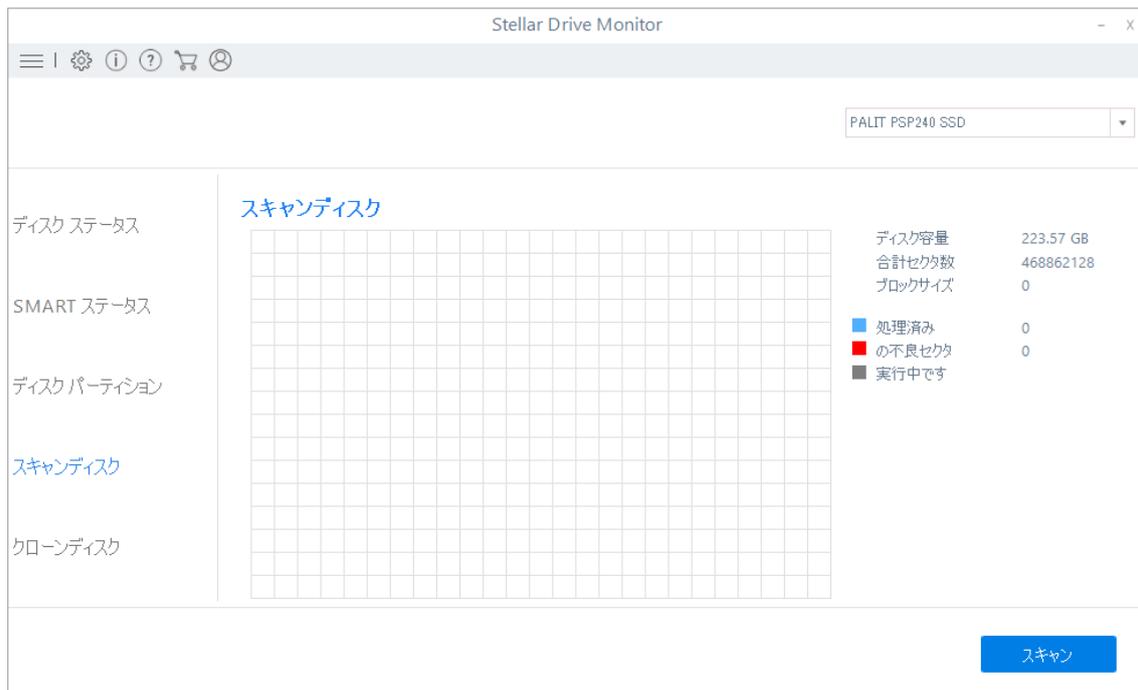
状態 : 健康、故障といったパーティションの状態を表示します。

容量 : 利用可能な空き容量です。

また、シリアル番号やインターフェイスの種類、ディスクの容量も表示されます。

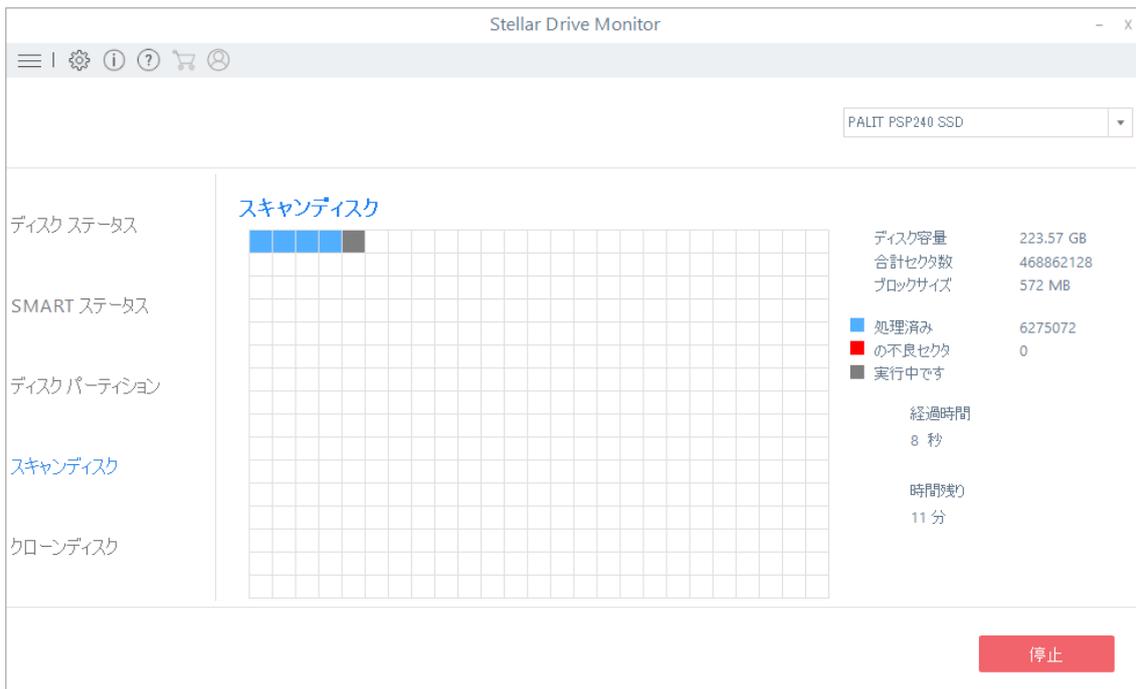
8.4. スキャンディスク

スキャンディスクではハードディスクの不良セクタをスキャンし、見つかった不良セクタをすべて報告します。



スキャンディスクを実行するには

1. 本製品を起動し、右上のリストからスキャンしたいハードディスクを選択します。
2. スキャンをクリックするとスキャンが開始します。進捗は画面内で確認できます。



3. スキャンディスクが完了すると完了のメッセージが表示されます。スキャンの結果、正常なブロックは青で表示され、不良なブロックは赤で表示されます。



スキャンディスクは、「停止」ボタンを押すといつでも中止できます。ただし再開はできず最初からやり直しになります。



不良セクタがあるハードディスクは、クローンの作成をお勧めします。不良セクタがあるハードディスクは故障の可能性が高くなります。

8.5.クローンディスク

クローンディスクは、オリジナルとなる送り元のディスクの内容をすべて送り先のディスクにコピーします。送り元ディスクのクローンが作成された時点で、上書きされたデータは失われ、復元することもできません。

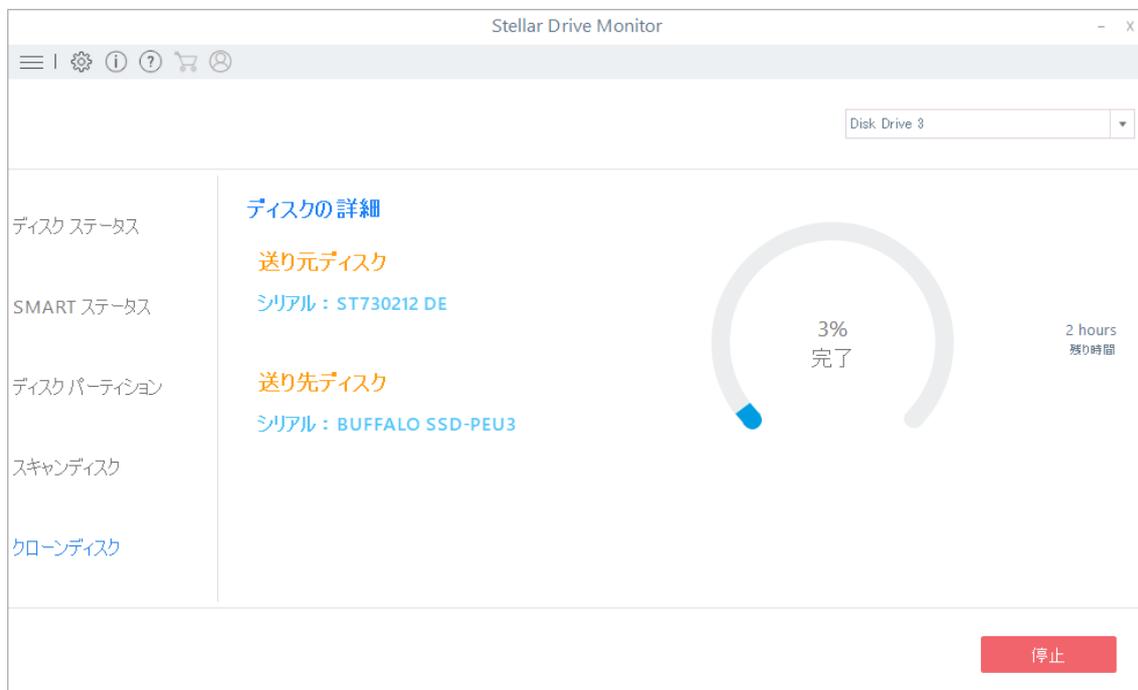


ディスクのクローンを作成するには、

1. 本製品を起動しクローンディスクを選択します。
2. 右上のドロップダウンリストから「送り元ディスク」を選択し、右下のドロップダウンリストから「送り先ディスク」を選択します。それぞれディスクの詳細が表示されます。
3. 「クローン」をクリックすると、警告メッセージが表示されます。送り元と送り先が正しいことを確認し、「開始」をクリックします。クローン作成しない場合は「キャンセル」をクリックします。



- クローン作成中は進捗状況が確認できます。経過時間の合計と、完了までの残り時間がウィンドウの右側に表示されます。



- クローン作成が完了すると、完了のメッセージが表示されます。



送り先ディスクの容量が送り元ディスク以下だと、クローン作成ができない旨のダイアログが表示されます。送り元以上のハードディスクをご用意ください。



クローン時は送り先ディスクのデータは失われ、復元できません。

9.よくある質問

1. 本製品の対応ハードディスクの種類を教えてください。

本製品が対応しているディスクは、PATA/SATA ディスク、USB ドライブ、SSD です。

2. ハードディスクの温度、健康状態、パフォーマンスが表示されません。

ハードウェア側の問題(ハードドライブコントローラ、ポートマルチプライヤ等)またはドライバがブロックしている可能性があります。

ディスクコントローラのドライバをアップデートすると解決する場合があります。また、別のバージョンの Windows を使うと解決する場合があります。

3. ハードディスクの温度がハードディスクの動作において重要な役割を果たすのはなぜですか？

高速なハードディスクとハードディスクケースは内部が密集した状態になっています。この状態でディスクの温度が上昇すると、ハードディスクの能力、信頼性が低下します。本製品は、ハードディスクの温度をモニタリングし、設定した温度を超えた場合にユーザーに警告をします。

4. ハードディスクの不良セクタを推測することは可能ですか？

はい、可能です。セクタを含むあらゆるブロックに対して分析を行ない、不良セクタ数を割り出します。

5. ハードディスクのクローンはどういった場合に必要なのですか？

ディスクを頻繁に使用したり、システムをシャットダウンしなかったり、ディスク内に多数の不良セクタがある場合、ディスクが適切に動作せず、結果的にハードディスクのデータが失われることがあります。ディスクの不適切な動作を回避し、データの安全を確保するためには、バックアップが必要です。その方法のひとつが、ハードディスクのクローン作成です。

6. 容量の小さいハードディスクにクローンを作成できますか？

いいえ、できません。クローンの送り先のディスク容量は送り元のディスク容量よりも大きい必要があります。

10. Legal Notices

Copyright

Stellar Drive Monitor software, accompanied user manual and documentation are copyright of Stellar Information Technology Private Limited, with all rights reserved. Under the copyright laws, this user manual cannot be reproduced in any form without the prior written permission of Stellar Information Technology Private Limited. No Patent Liability is assumed, however, with respect to the use of the information contained herein.

Copyright © Stellar Information Technology Private Limited. INDIA.

Disclaimer

The Information contained in this manual, including but not limited to any product specifications, is subject to change without notice.

STELLAR INFORMATION TECHNOLOGY PRIVATE LIMITED PROVIDES NO WARRANTY WITH REGARD TO THIS MANUAL OR ANY OTHER INFORMATION CONTAINED HEREIN AND HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMS ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE WITH REGARD TO ANY OF THE FOREGOING STELLAR INFORMATION TECHNOLOGY PRIVATE LIMITED ASSUMES NO LIABILITY FOR ANY DAMAGES INCURRED DIRECTLY OR INDIRECTLY FROM ANY TECHNICAL OR TYPOGRAPHICAL ERRORS OR OMISSIONS CONTAINED HEREIN OR FOR DISCREPANCIES BETWEEN THE PRODUCT AND THE MANUAL. IN NO EVENT SHALL STELLAR INFORMATION TECHNOLOGY PRIVATE LIMITED, BE LIABLE FOR ANY INCIDENTAL, CONSEQUENTIAL SPECIAL, OR EXEMPLARY DAMAGES, WHETHER BASED ON TORT, CONTRACT OR OTHERWISE, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THIS MANUAL OR ANY OTHER INFORMATION CONTAINED HEREIN OR THE USE THEREOF.

Trademarks

Stellar Drive Monitor® is a registered trademark of Stellar Information Technology Private Limited.

Windows 7®, Windows 8®, Windows 8.1® and Windows 10® are registered trademarks of Microsoft® Corporation Inc.

All Trademarks Acknowledged.

All other brands and product names are trademarks or registered trademarks of their respective companies.

License Agreement – Stellar Drive Monitor

Stellar Drive Monitor

Copyright © Stellar Information Technology Private Limited. INDIA

www.stellarinfo.com

All rights reserved.

All product names mentioned herein are the trademarks of their respective owners.

This license applies to the standard-licensed version of **Stellar Drive Monitor**

Your Agreement to this License

You should carefully read the following terms and conditions before using, installing or distributing this software, unless you have a different license agreement signed by Stellar Information Technology Private Limited.

If you do not agree to all of the terms and conditions of this License then do not copy, install, distribute or use any copy of **Stellar Drive Monitor** with which this License is included, you may return the complete package unused without requesting an activation key within 30 days after purchase for a full refund of your payment.

The terms and conditions of this License describe the permitted use and users of each Licensed Copy of **Stellar Drive Monitor**. For purposes of this License, if you have a valid single-user license, you have the right to use a single Licensed Copy of **Stellar Drive Monitor**. If you or your organization has a valid multi-user license, then you or your organization has the right to use up to a number of Licensed Copies of **Stellar Drive**

Monitor equal to the number of copies indicated in the documents issued by Stellar when granting the license.

Scope of License

Each Licensed Copy of **Stellar Drive Monitor** may either be used by a single person or used non-simultaneously by multiple people who use the software personally installed on a single workstation. This is not a concurrent use license.

All rights of any kind in **Stellar Drive Monitor**, which are not expressly granted in this license, are entirely and exclusively reserved to and by Stellar Information Technology Private Limited. You shall not rent, lease, modify, translate, reverse engineer, decompile, disassemble or create derivative works based on **Stellar Drive Monitor** nor permit anyone else to do so. You shall not make access to **Stellar Drive Monitor** available to others in connection with a service bureau, application service provider or similar business nor permit anyone else to do so.

Warranty Disclaimers and Liability Limitations

Stellar Drive Monitor and all accompanying software, files, data and materials are distributed and provided AS IS and with no warranties of any kind, whether expressed or implied. You acknowledge that good data processing procedure dictates that any program including **Stellar Drive Monitor** must be thoroughly tested with non-critical data before there is any reliance on it and you hereby assume the entire risk of all use of the copies of **Stellar Drive Monitor** covered by this License. This disclaimer of warranty constitutes an essential part of this License. In addition, in no event does Stellar authorize you or anyone else to use **Stellar Drive Monitor** in applications or systems where its failure to perform can reasonably be expected to result in a significant physical injury or in loss of life. Any such use is entirely at your own risk and you would not hold Stellar responsible for any and all claims or losses relating to such unauthorized use.

In no event shall Stellar Information Technology Private Limited or its suppliers be liable for any special, incidental, indirect, or consequential damages whatsoever (including, without limitation, damages for loss of business profits, business interruption, loss of business information, or any other pecuniary loss) arising out of the use of or inability to use the software product or the provision of or failure to provide support services, even

if Stellar Information Technology Private Limited has been advised of the possibility of such damages. In any case, Stellar Information Technology Private Limited's entire liability under any provision shall be limited to the amount actually paid by you for the software product.

General

This License is the complete statement of the agreement between the parties on the subject matter and merges and supersedes all other or prior understandings, purchase orders, agreements and arrangements. This License shall be governed by the laws of the State of Delhi, India. Exclusive jurisdiction and venue for all matters relating to this License shall be in courts and fora located in the State of Delhi, India and you consent to such jurisdiction and venue. There are no third party beneficiaries of any promises, obligations or representations made by Stellar herein. Any waiver by Stellar of any violation of this License by you shall not constitute nor contribute to a waiver by Stellar of any other or future violation of the same provision or any other provision of this License.

Copyright © Stellar Information Technology Private Limited. All rights reserved.

11.Stellar Repair for Photo の概要

本製品は、様々な拡張子を持つ、破損した写真または画像ファイルを修復します。コンピューターのハードディスクやメモリーカードをはじめとする記憶媒体に保存された画像ファイルが修復できます。

救出フェニックス 3 PRO には本機能はありません。

このバージョンで新しくなった点

- UI を強化
- RAW 形式の画像ファイルの対応強化。

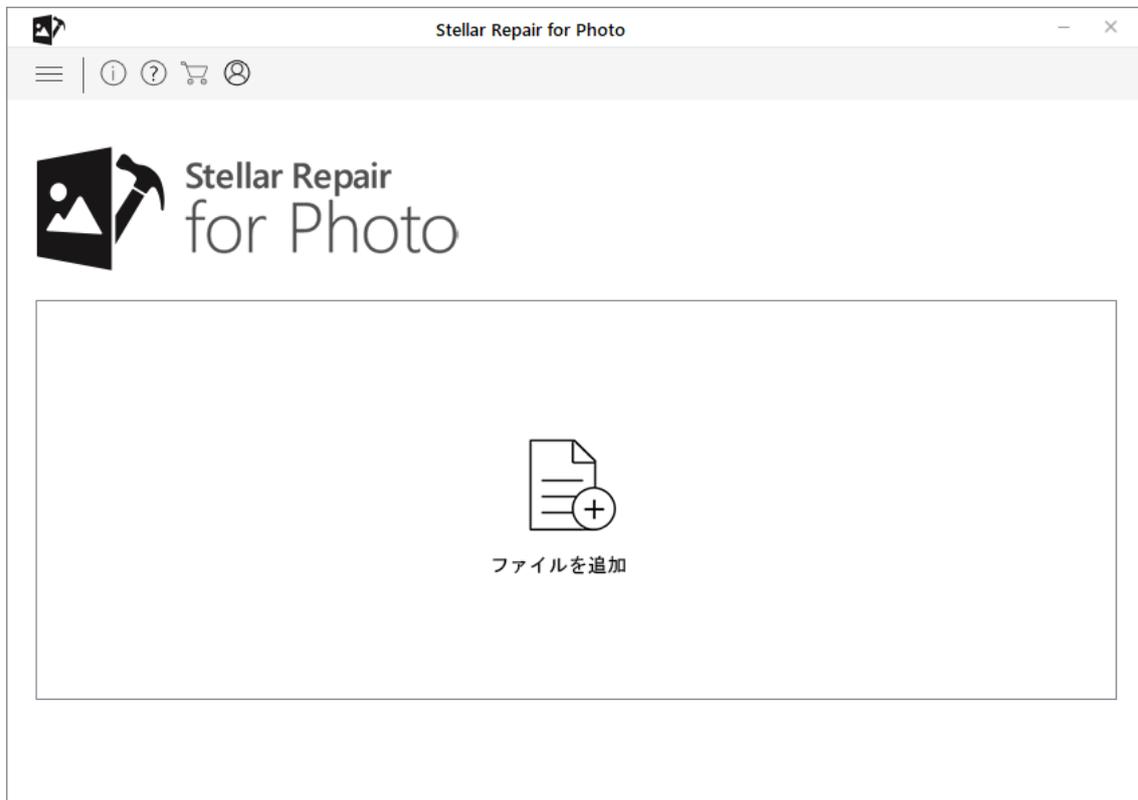
ARW、CR2、CRW、DNG、ERF、JPG、MRW、NEF、NRW、ORF、PEF、RAF、SR2、SRF、TIFF、RW2

主要な機能

- 破損した写真および画像ファイルを修復
- ファイル内のサムネイルを抽出
- 保存前に、修復された画像ファイルをプレビュー

12.ユーザーインターフェイス

本製品を起動すると以下の画面が表示されます。



12.1.ボタン



ファイルを追加

ファイルを追加

クリックすると「画像を選択」ダイアログが表示されます。修復したい画像ファイルを選択してください。選択したファイルはリストに登録されます。

追加

追加

クリックすると「画像を選択」ダイアログが表示されます。修復したい画像ファイルを選択してください。選択したファイルはリストに登録されます。

その他のボタン

| | |
|---|--|
|  | 本製品について クリックすると本製品に関する情報が表示されます。 |
|  | ヘルプ クリックするとヘルプが表示されます。 |
|  | 購入 クリックすると本製品の購入ページが表示されます。 |
|  | アクティベーション クリックすると、アクティベーション画面が表示されます。 |
| Advance repair | 高度な修復 大きく破損した画像を修復するときに使用します。 |
|  | 停止 クリックすると、修復を停止します。 |
|  | 修復 クリックすると、修復を開始します。 |
|  | 保存 クリックすると、修復したファイルを保存します。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 全て選択 | 全て選択 リストに追加されたファイルすべて選択、または解除します。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> サムネイルを表示 | サムネイルを表示 クリックすると、画像ファイルのサムネイルの表示/非表示を切り替えます。 |
|  | 戻る クリックすると、前の画面に戻ります。 |

13.使用方法

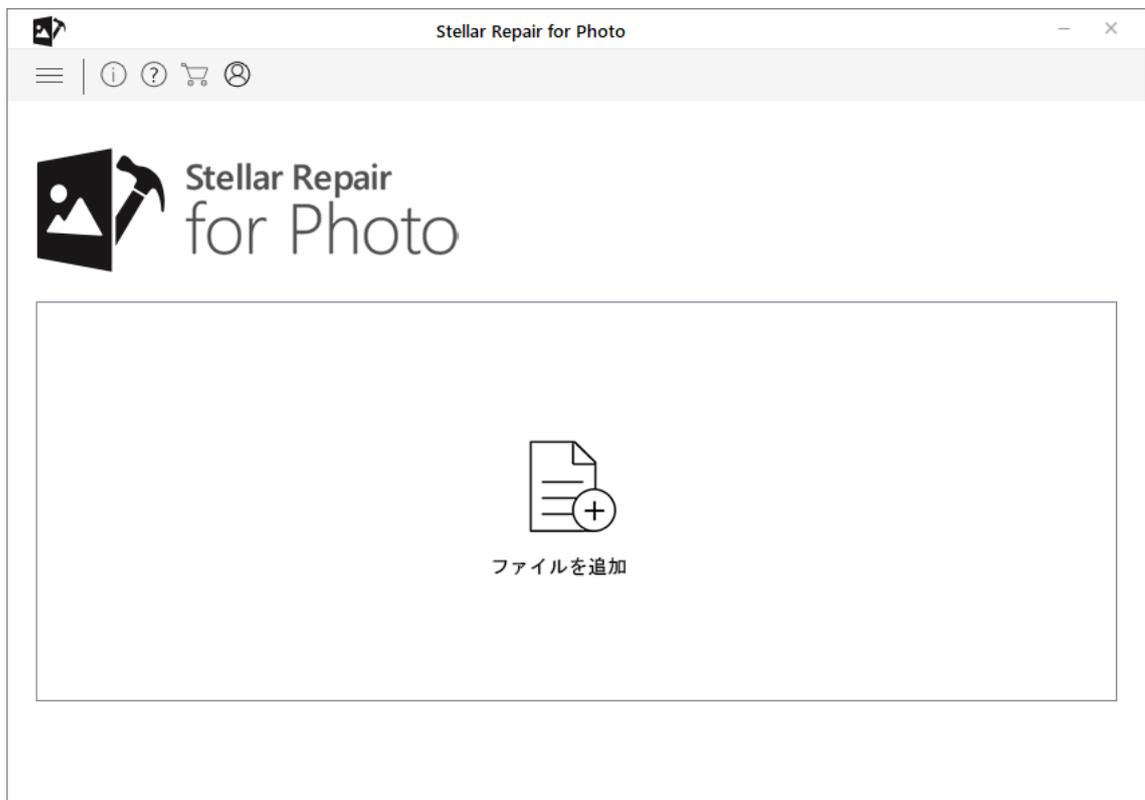
- [画像ファイルの追加](#)
- [画像ファイルの修復](#)
- [高度な修復](#)
- [画像ファイルのプレビューと保存](#)

13.1.画像ファイルの追加

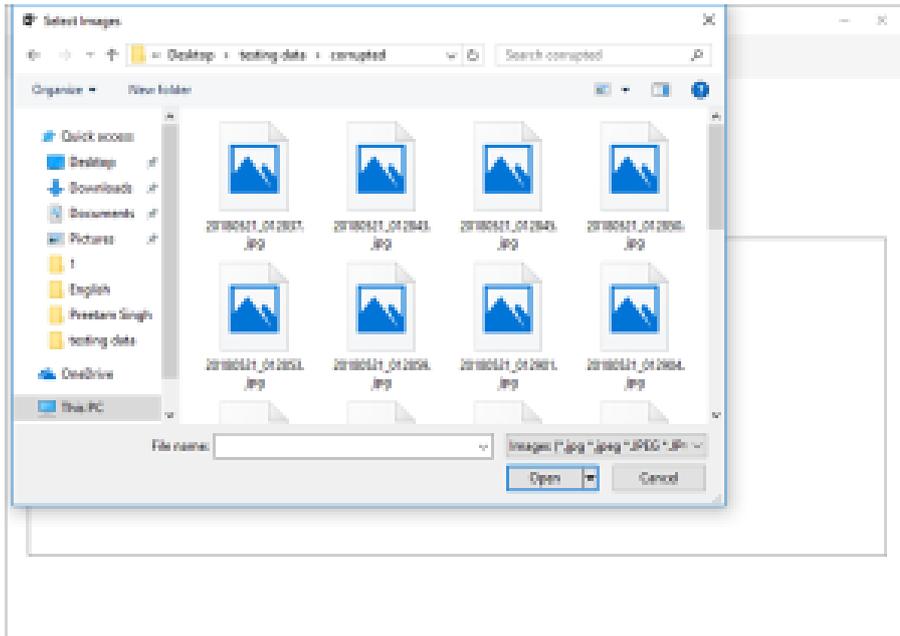
本製品は破損した画像ファイルを修復し、指定した場所に保存します。「ファイルを追加」ボタンから、単一または複数の修復するファイルを選択できます。

画像ファイルの追加は以下の手順で行います。

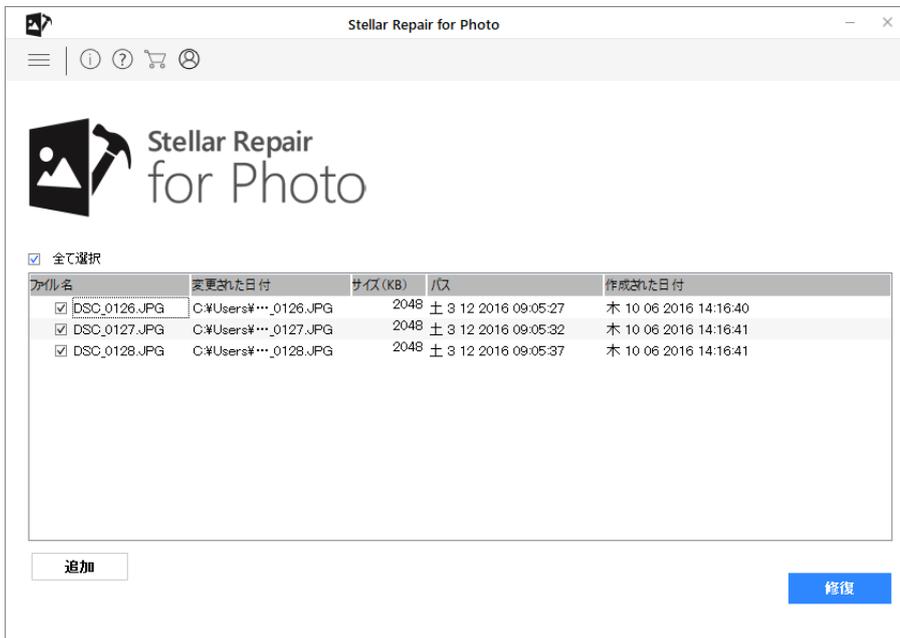
1. 本製品を起動し、「ファイルを追加」ボタンをクリックします。



2. 画像を選択ダイアログが開きます。画像ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。ファイルは複数追加できます。



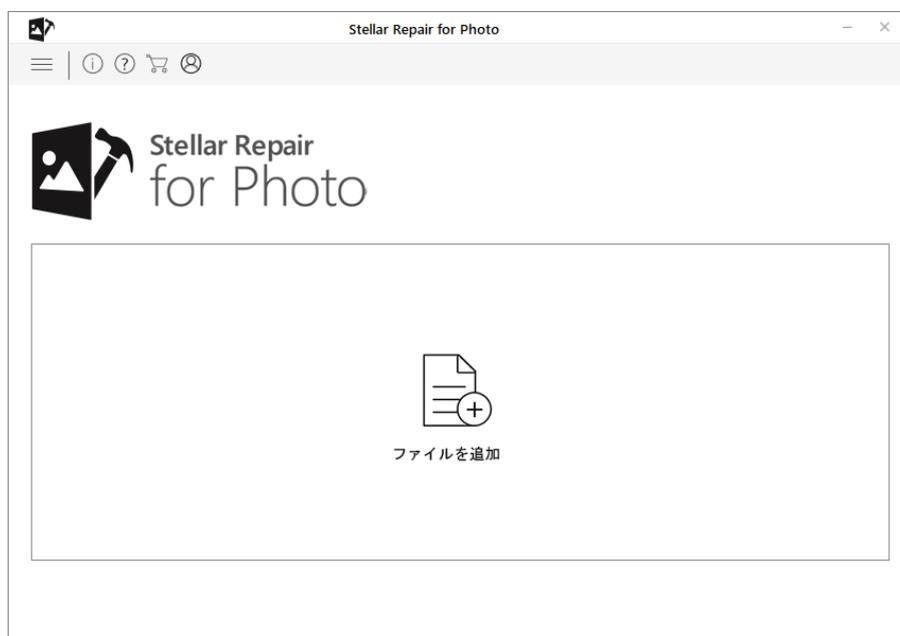
3. 選択したファイルが以下のように表示されます。



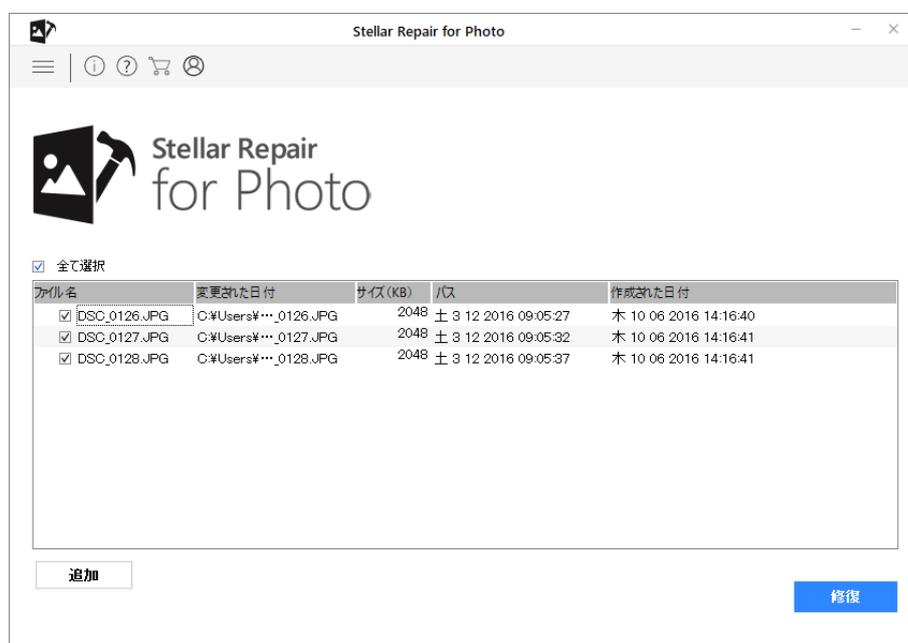
13.2.画像ファイルの修復

修復するファイルを追加すると、以下のようなウィンドウが表示されます。

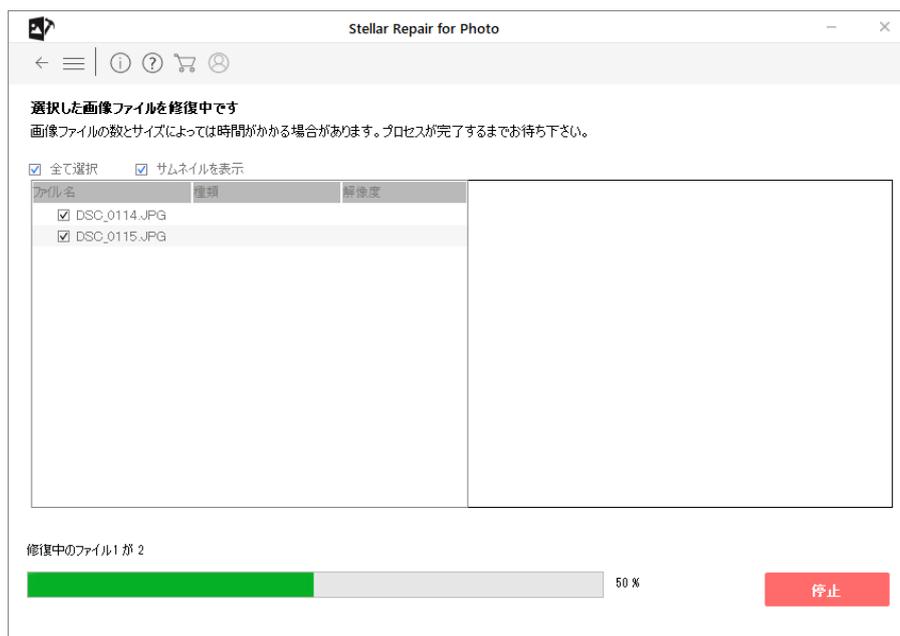
1. 本製品を起動し、「ファイルを追加」ボタンから修復する画像を登録します。



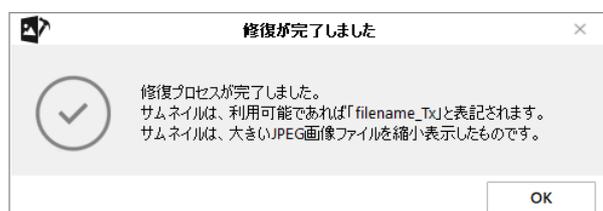
2. リストから修復したいファイルにチェックを付けます。「全て選択」をクリックすると、全ファイルの選択または選択を解除します。



3. 「修復」ボタンをクリックすると修復がはじまります。

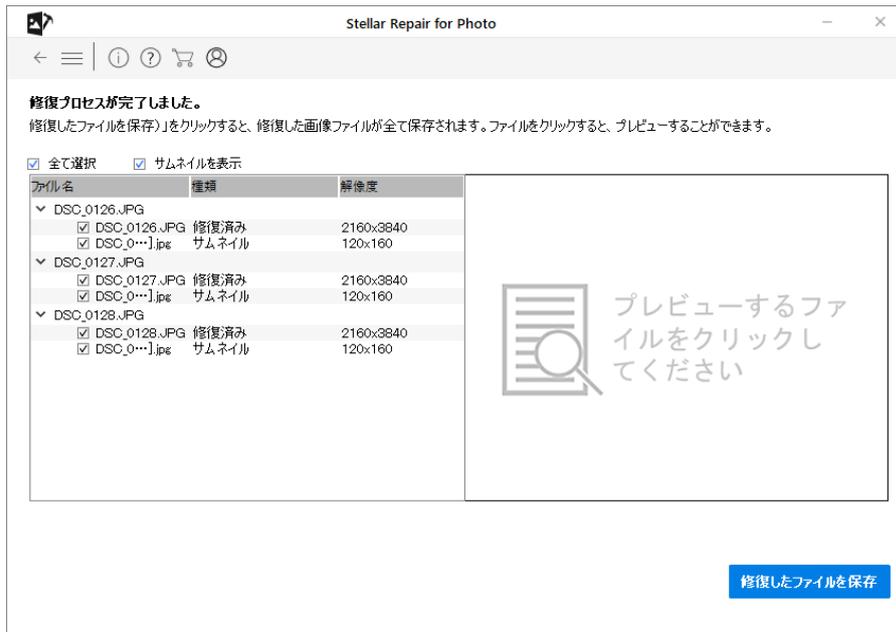


4. 修復が完了すると、以下の画面が表示されますので「OK」をクリックします。



13.3.高度な修復

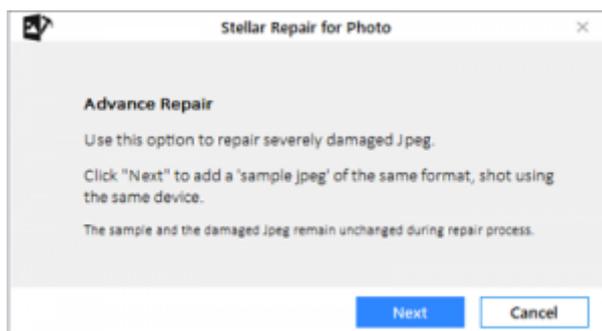
画像ファイルが大きく破損している場合は、サンプルファイルを追加することで修復を行うこともできます。高度な修復機能は、JPEG / JPG ファイルのみ使用できます。



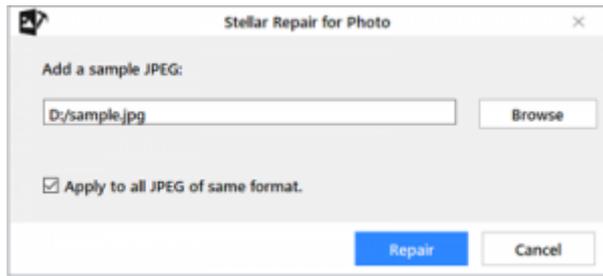
サンプルファイルは、破損したファイルと同じデバイスで作成された、同一形式のファイルです。サンプルファイルのサイズに制限はありません。本製品がサンプルファイルの情報を参照し、破損したファイルを修復します。

サンプルファイルを追加するには

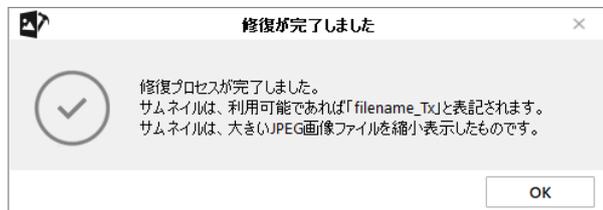
1. ファイル修復後、リスト内の「種類」の項目の「高度な修復」をクリックします。
2. 以下のダイアログが開きますので、「次へ」をクリックします。



3. 「参照」ボタンをクリックして、任意の場所からサンプルファイルを選択します。リスト内の破損した JPEG ファイル全ての修復にこのサンプルファイルを使う場合は、「同一形式の全 JPEG ファイルに適用」にチェックをつけ、「修復」ボタンをクリックします。



4. プログレスバーが、ファイルの修復の進行状況を表示します。中止したい場合は、「中止」ボタンをクリックします。
5. 修復が完了した旨のダイアログが表示されます。

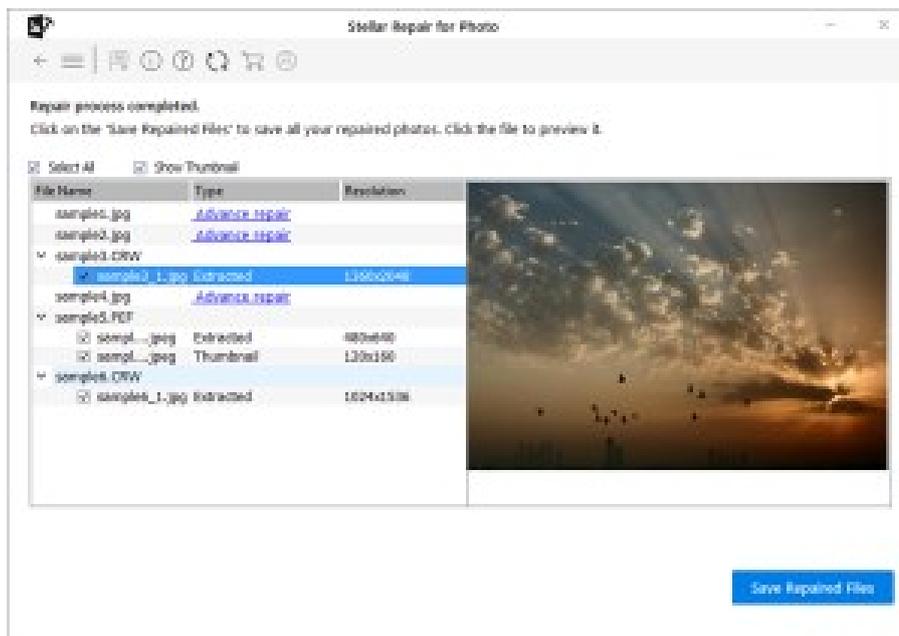


13.4.画像ファイルのプレビューと保存

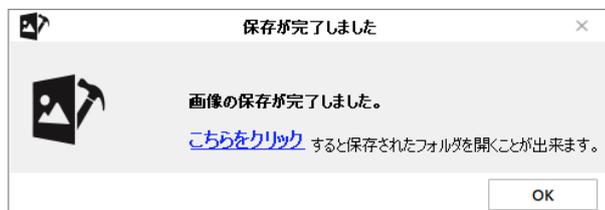
修復した画像ファイルを選択し、場所を指定して保存することができます。

修復したファイルを保存するには

1. 修復後に表示される画面の左側のリストから、保存するファイルにチェックをつけます。



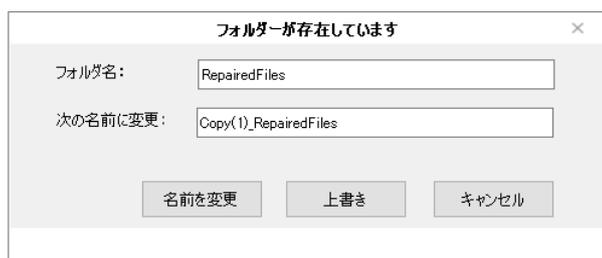
2. 「修復したファイルを保存」ボタンをクリックします。任意の保存先を選択してファイルを保存します。
3. 指定した場所に、Repaired Files という名前のフォルダが自動で作成されます。「こちらをクリック」をクリックすると、ファイルの保存先が開きます。



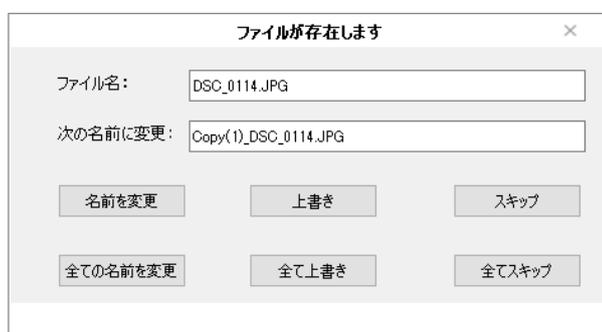
4. 「OK」をクリックしてメッセージボックスを閉じます。

※保存先に同名のファイルがある場合、名前を変更するか上書きするかを確認するダイアログが表示されます。

- フォルダの名前を変更する場合は「名前を変更」ボタンをクリックします。「次の名前に変更」で表示されている名前でフォルダが作成、ファイルを保存します。



- 上書きする場合は「上書き」ボタンをクリックします。「ファイルが存在します」ダイアログが表示されますので、「名前を変更」、「上書き」、「スキップ」のいずれかをクリックします。以降のファイルすべて同じ処理をする場合は、「全ての名前を変更」、「全て上書き」、「全てスキップ」をクリックします。



注意 : JPEG のサムネイル(存在する場合)は Repaired Files フォルダ内の Thumbnail Repaired フォルダに保存されます。

14.よくある質問

「サムネイル」とは何ですか？

画像のおおまかな見た目が分かる、小さな画像ファイルです。

JPEG とは何ですか？

デジタル画像ファイルで、非可逆圧縮形式である JPEG/JPG 規格を策定した Joint Photographic Experts Group に由来します。

RAW 画像とは何ですか？

RAW 画像は圧縮されていないデジタル写真で、カメラが撮った画像をそのままデータとして保存したものです。RAW 画像は JPEG 形式よりもサイズが大きくなりますが、そのぶん画質が高くなっています。

本製品で修復した画像ファイルは同じファイル形式になるのでしょうか？

いいえ。本ソフトウェアは、画像ファイルを JPG 形式で修復します。

修復する JPEG ファイル選択時に、「無効な画像」のメッセージが表示されるのはなぜですか？

修復できないファイルの場合表示されます。画像ファイルは、ファイルのコンテナと画像データという 2 つの部分から構成されます。コンテナとは JPEG 画像を定義する入れ物で、コンテナが破損していると本製品ではそのファイルを JPEG ファイルとして識別することが不可能になるため、「無効な画像」のメッセージが表示されます。こうした画像を修復することはできません。

NAME_T1.jpg、NAME_T2.jpg とは何ですか？

サムネイルの画像です。修復するファイルにサムネイルが含まれている場合、リストにあわせて表示されます。こうしたサムネイル画像には IMAGE_NAME_T1.jpg といった名前がつきます。ひとつの画像に 4 つのサムネイルがある場合は、ファイル名_T1.jpg、ファイル名_T2.jpg、ファイル名_T3.jpg、ファイル名_T4.jpg という名前で一覧表示されます。

完全に修復できない JPEG ファイルがあるのはなぜですか？

画像ファイルは、ファイルのコンテナと画像データという 2 つの部分から構成されます。コンテナとは JPEG 画像を定義する入れ物で、コンテナが破損していると本製品ではそのファイルを JPEG ファイルとして識別することが不可能になるため修復できません。

また、コンテナが破損しておらず画像データが破損している場合、画像を修復できますが、修復された画像は例えば色や画像の一部が失われたような不完全なものになります。これは画像データが破損していることが原因です。

15. Stellar Repair for Video の概要

本製品は、フラッシュドライブ、メモリーカード、ハードドライブ、外付けハードドライブ等の記憶媒体で破損した動画ファイルを修復するソフトウェアです。

動画ファイルが破損する原因として多いのが、ファイル形式の変更、ファイルヘッダの破損、システムの不適切なシャットダウン、ファイルの読み込みおよび書き込みエラー、不完全なダウンロード、圧縮の失敗などです。本製品では、AVI、ASF、WMV、MKV、FLV、DIVX、WEBM、MJPEG、MPEG、AVCHD、MTS、MOV、MP4、M4V、3G2、3GP、F4V の動画を修復します。また、コンピューターに保存する前に、修復した動画をプレビューできます。

救出フェニックス 3 PRO には本機能はありません。

このバージョンで新しくなった点

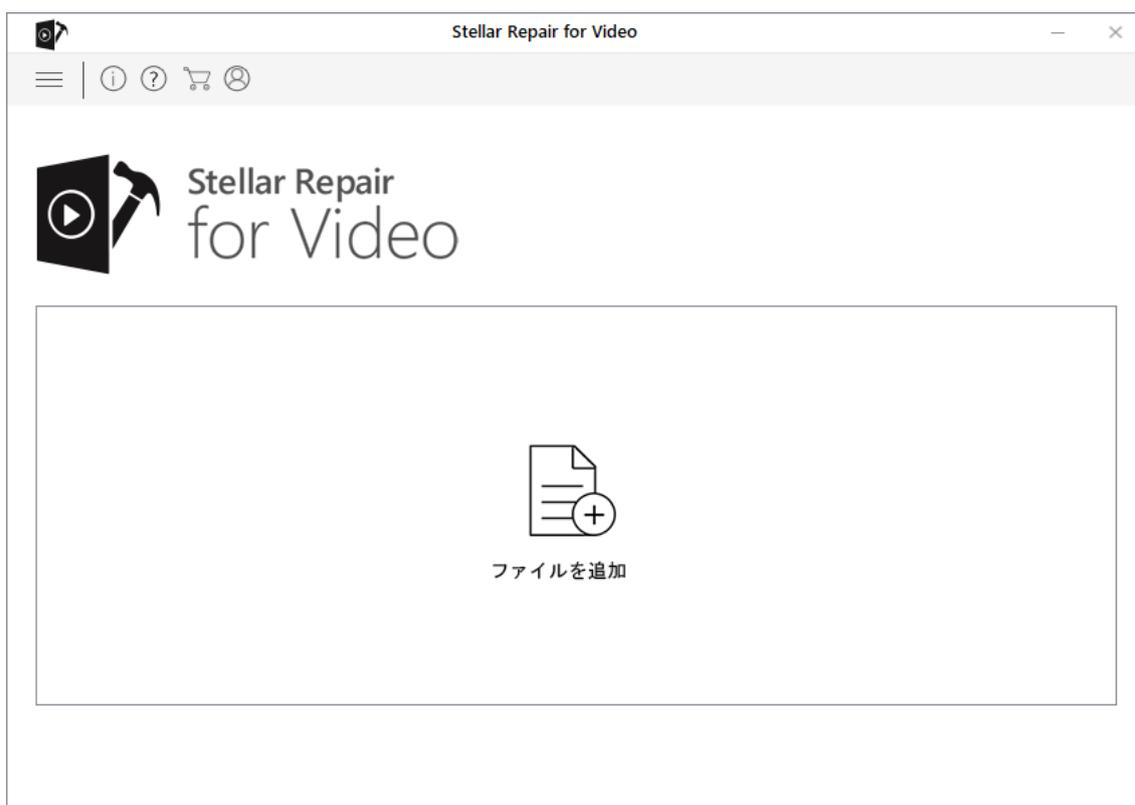
- UI を強化
- サンプルファイルを使って破損した動画を修復

Stellar Repair for Video の主要な機能

- AVI、ASF、WMV、MKV、FLV、DIVX、WEBM、MJPEG、MPEG、AVCHD、MTS、MOV、MP4、M4V、3G2、3GP、F4V の動画を修復
- 動画ファイルのヘッダの破損を修復
- 動画ファイルの音声の破損を修復
- 動画ファイルの動作に関するエラーを修復
- 動画のフレームの破損を修復
- 動画のスライダーの動きに関するエラーを修復
- 修復可能な動画ファイルのプレビューが可能
- 動画ファイルの破損したデータを修復

16. ユーザーインターフェイス

本製品を起動すると以下の画面が表示されます。



16.1.ボタン



ファイルを追加

ファイルを追加

このボタンをクリックして、修復したい動画ファイルを追加します。



本製品について

クリックすると、本製品に関する情報が表示されます。



ヘルプ

クリックするとヘルプが表示されます。



購入

クリックすると本製品の購入ページが表示されます。



アクティベーション

クリックすると、アクティベーション画面が表示されます。

| | |
|---|---|
|  | 戻る クリックすると、前の画面に戻ります。 |
|  | 停止 クリックすると修復を停止します。 |
|  | 追加 このボタンをクリックして、修復したい動画ファイルを追加します。 |
|  | プレビュー クリックすると、選択したファイルをプレビューします。 |
|  | 修復 クリックすると修復を開始します。 |
|  | 修復したファイルを保存 クリックすると、修復したファイルを保存します。 |

17.使用方法

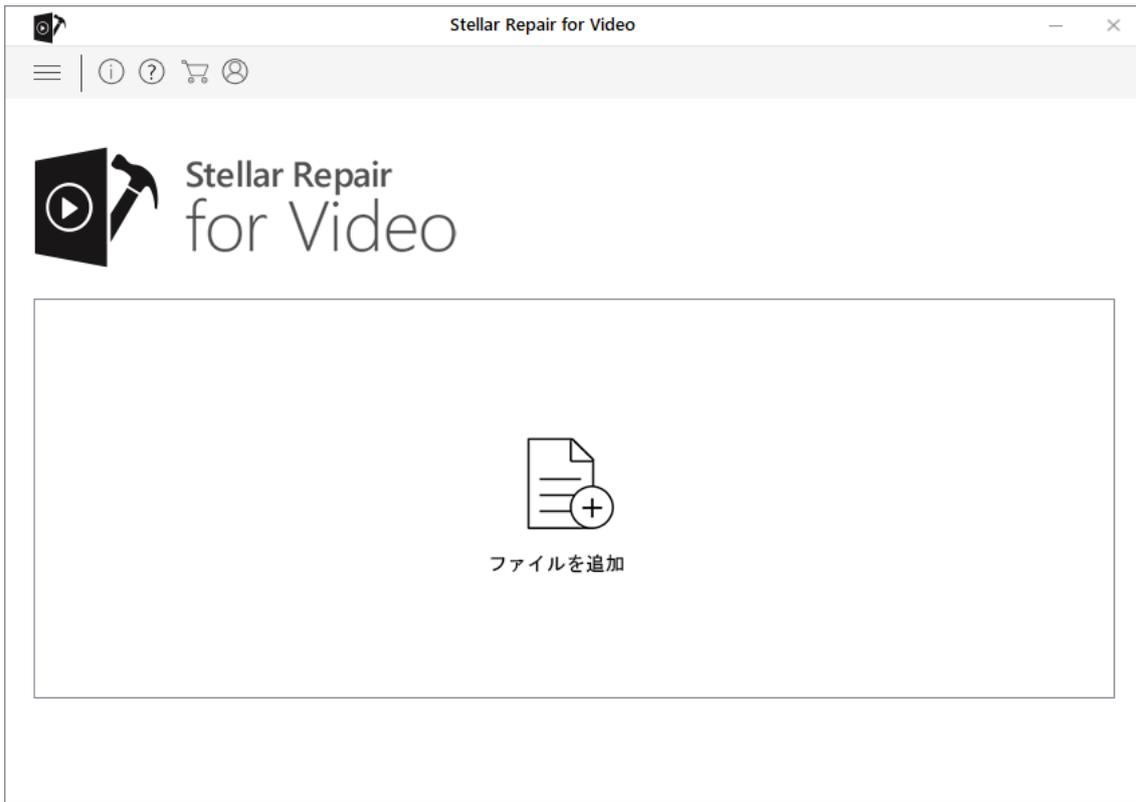
- [動画ファイルの追加](#)
- [動画ファイルの修復とプレビュー](#)
- [高度な修復](#)
- [修復したファイルを保存](#)

17.1.動画ファイルの追加

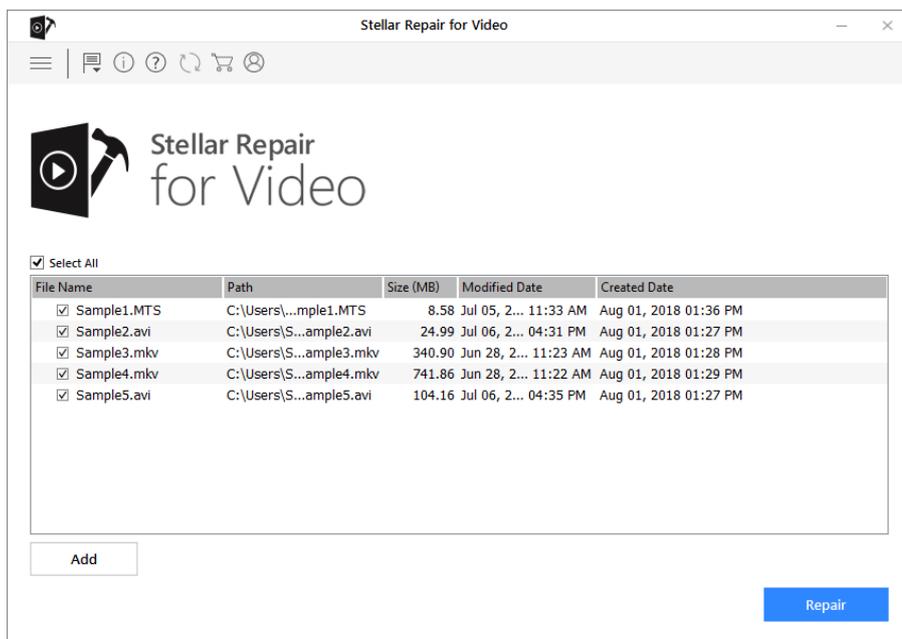
本製品は破損した動画ファイルを修復し、指定した場所に保存します。「ファイルを追加」ボタンから、単一または複数の修復するファイルを選択できます。

修復する動画を追加するには

1. 本製品を起動し、「ファイルを追加」ボタンをクリックします。



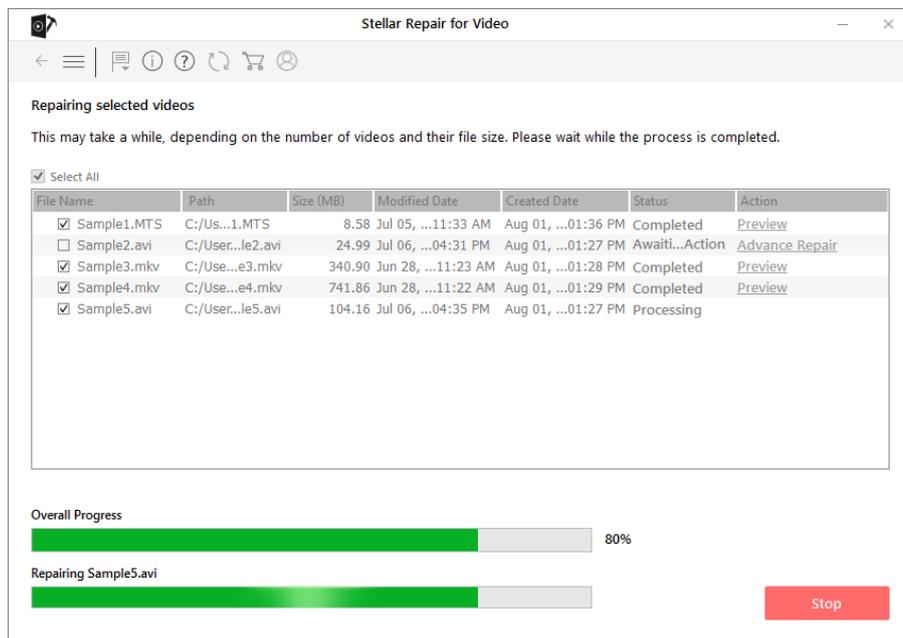
2. 「ファイルを追加」ダイアログが開きます。動画ファイルを選択して「開く」ボタンをクリックします。ファイルは複数追加できます。



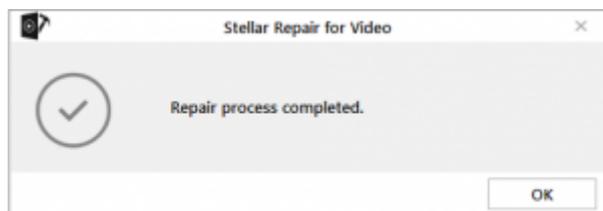
17.2.動画ファイルの修復とプレビュー

選択したファイルを修復するには

- 「修復」ボタンをクリックして選択したファイルを修復します。
- プログレスバーが進行状況を表示します。作業をやめる場合は「停止」ボタンをクリックします。停止すると再開はできません。



- 修復が完了すると、以下のメッセージが表示されます。

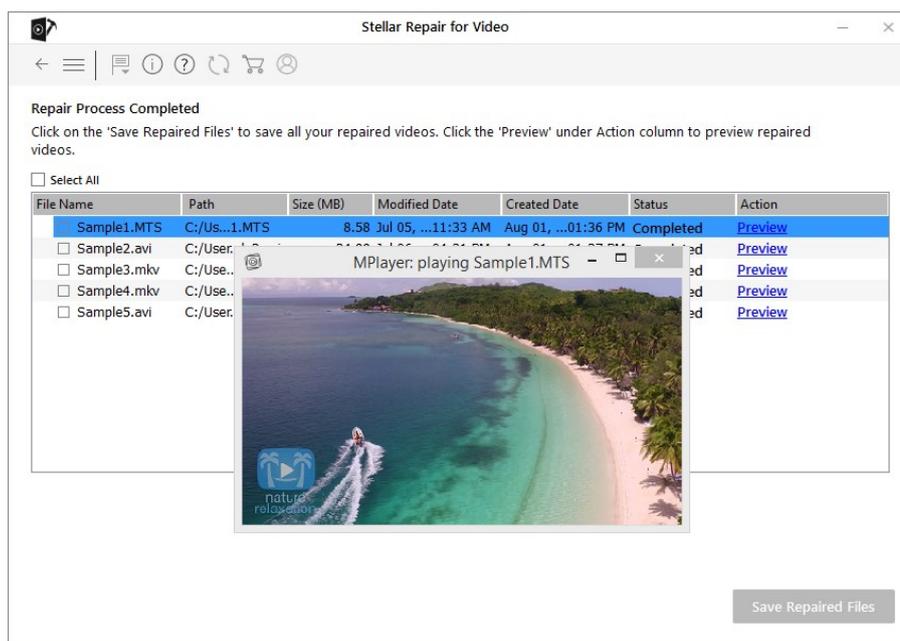


- 修復したファイルは、画面上で確認できます。
 - 修復に成功したファイルは、「完了」と表示されます。
 - 大きく破損したファイルは、高度な修復を行う必要があります。このようなファイルには「待機アクション」と表示されます。詳細は高度な修復をご確認ください。

- 作業を中止した場合は、「中断」と表示されます。

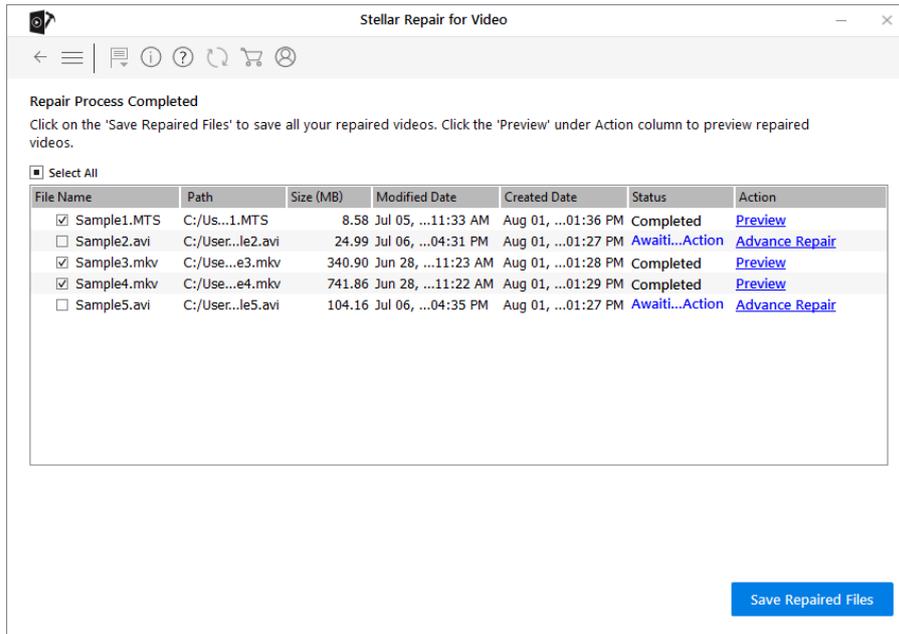
修復した動画をプレビューするには

- 動画ファイルをプレビューするには、「アクション」の項目内の「プレビュー」をクリックします。



17.3.高度な修復

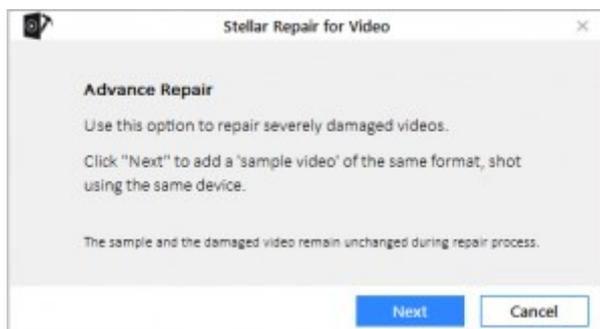
動画ファイルが大きく破損している場合は、サンプルファイルを追加することで修復を行うこともできます。高度な修復は「待機アクション」状態のファイルにのみ実行可能です。



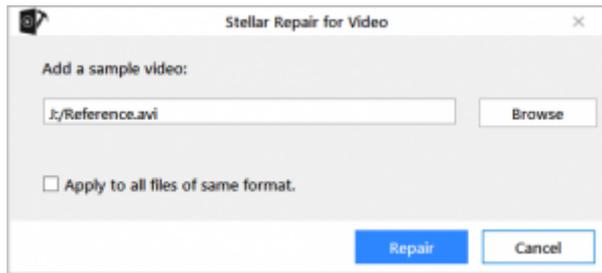
サンプルファイルは、破損したファイルと同じデバイスで作成された、同一形式のファイルです。サンプルファイルのサイズに制限はありません。本製品がサンプルファイルの情報を参照し、破損したファイルを修復します。ヘッダが破損した動画ファイルの修復も可能です。

サンプルファイルを追加するには

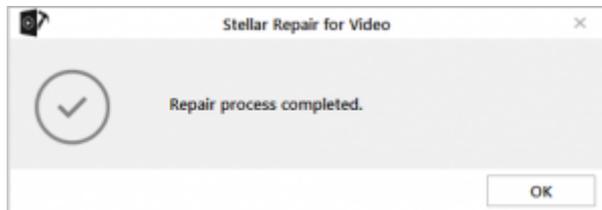
1. 動画ファイルのリストの、「アクション」の項目の「高度な修復」をクリックします。
2. 以下のダイアログボックスが開きますので、「次へ」をクリックします。



3. 「参照」ボタンをクリックして、任意の場所からサンプルファイルを選択します。
4. リスト内の破損した動画ファイル全ての修復にこのサンプルファイルを使う場合は、「同一形式の全ファイルに適用」にチェックをつけ、「修復」ボタンをクリックします。



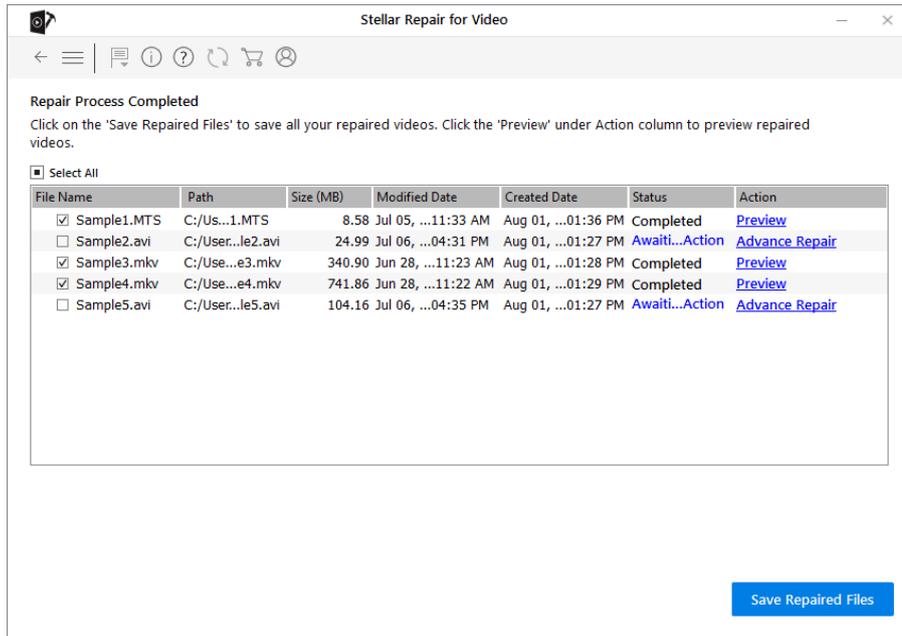
5. プログレスバーが、ファイルの修復の進行状況を表示します。中止したい場合は、「中止」ボタンをクリックします。
6. 修復が完了した旨のダイアログが表示されます。



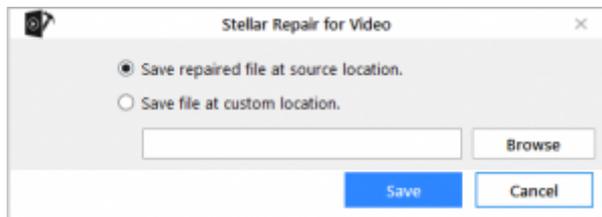
17.4.修復したファイルを保存

修復したファイルを保存するには

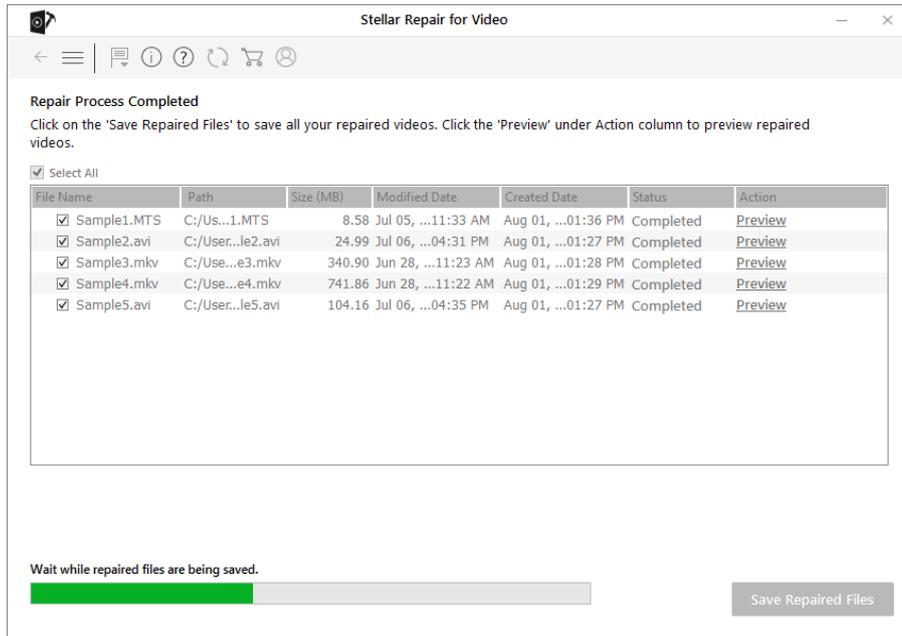
1. 修復後に表示されるリストから、保存するファイルにチェックをつけます。
2. 「修復したファイルを保存」ボタンをクリックします。



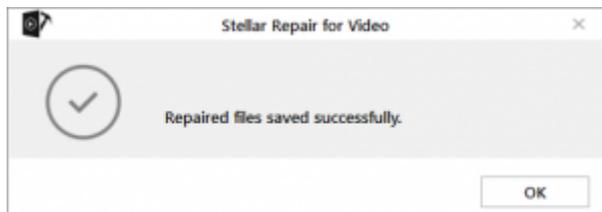
- 以下のダイアログが表示されます。元の場所にファイルを保存する場合は、「修復されたファイルをソースの場所に保存する」を選択します。任意の場所に保存する場合は、「場所を指定してファイルを保存する」を選択し、「保存」ボタンをクリックします。



- 進行状況バーが、ファイルの保存プロセスの進行状況を表示します。



5. 保存が完了した旨のダイアログが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてダイアログを閉じます。



18.よくある質問

1. ファイルの修復にかかる時間はどれくらいですか？
動画ファイルの修復にかかる時間は、選択した動画ファイルの数とサイズによって決まります。
2. 修復プロセスでは、動画ファイルになんらかの変更が加えられますか？
いいえ。修復プロセスの完了後、修復されたファイルをソースの場所または指定した場所に保存できます。

3. **Macでも修復した動画ファイルを再生できますか？**

ファイル形式によります。一般的なファイルは再生できますが、非対応のファイルは再生できません。